

7

便利な使いかた

メニュー一覧表	7-2
いろいろな機能を設定する	7-5
メインメニュー画面を変更する	7-13
カスタムボタンを設定する	7-15
スケジュール機能を利用する	7-18
目覚ましを利用する	7-24
電卓を利用する	7-26
ICレコーダを利用する	7-27
メモ帳を利用する	7-30
位置情報を利用する	7-32
イヤホンマイクを利用する	7-36
データフォルダを活用する	7-38
国際ローミングを利用する （国際ローミング）	7-53
国際電話をかける （ウィルコム国際電話サービス）	7-56
ウィルコムのサービスを利用する	7-57
ソフトウェアを更新する	7-62

メニュー一覧表

メニュー	機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ				
	公衆	オフィス	グループ						
メール	11	受信BOX	○	○	×	あらかじめセットされたメール1件	3-12		
	12	送信BOX	○	○	×	-	3-16		
	13	未送信BOX	○	○	×	-	3-10		
	14	Eメール受信	○	○	×	-	3-11		
	15	Eメール作成	○	○	×	-	3-7		
	16	ライトメール作成	○	○	×	-	3-28		
	17	Eメールアカウント設定	○	○	×	-	3-26		
	18	オプション	○	○	×	-	3-23		
	19	オンラインサインアップ	○	×	×	-	3-6		
	10	インターネット設定	○	○	×	-	4-26		
テラポッド	2		○	○	○	-	7-38		
Web	31	公式サイト	○	×	×	-	4-2		
	32	ホーム	○	○	×	公式サイト	4-5		
	33	ブックマーク	○	○	×	21件	4-9		
	34	インターネット検索	○	○	×	-	4-12		
	35	履歴	○	○	×	-	4-7		
	36	ページメモ	○	○	×	-	4-13		
	37	Web ページを開く	○	○	×	-	4-6		
	38	オプション	○	○	×	-	4-5、20		
	39	インターネット設定	○	○	×	-	4-26		
スケジュール	4		○	○	○	通知設定：通知しない スケジュール音：アラーム1、音量：3 パイプ：OFF、鳴動時間：30秒	7-18		
機能設定	51	音	着信	公衆着信	○	×	○	着信メロディ：パターン1、音量：3 パイプ：OFF	2-39
				Eメール着信	○	×	○	着信メロディ：シングル1、音量：3 パイプ：OFF、鳴動時間：10秒	
				ライトメール着信	○	×	○	着信メロディ：シングル2、音量：3 パイプ：OFF、鳴動時間：10秒	
				オフィス外線着信	×	○	○	着信メロディ：パターン4、音量：3 パイプ：OFF	
				オフィス内線着信	○	○	○	着信メロディ：パターン6、音量：3 パイプ：OFF	
				オフィス専用線着信	○	○	○	着信メロディ：パターン10、音量：3 パイプ：OFF	
		効果音	○	○	○	キー確認音：パターンA			
	52	日付/時刻	時計設定	自動補正	○	○	×	ON	2-45
				成功/エラー音：ON	2-45				
				圏外/充電警告音：ON	2-46				
				送達確認音：ON	2-46				
				グリーンスリーブス	2-46				
				イヤホン装着時鳴動先	7-36				
				本体	7-36				
2008年1月1日00:00	1-21								

機能設定	メニュー		機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ		
			公衆	オフィス	グループ				
機能設定	53	画面	壁紙	○	○	○	Tile (Black)	7-40	
			画面配色	○	○	○	白 (透過あり)	7-8	
			時計表示	○	○	○	画面パターン: 大 (日本語)、 表示位置: 画面中央、色: 白	7-7	
			カレンダー表示	○	○	○	OFF	7-8	
			ディスプレイ	○	○	○	明るさ: レベル 2、点灯時間: 8 秒 消灯時間: 30 秒後 通話中点灯: OFF、キーライト点灯: OFF 卓上充電器充電中点灯: OFF キーロック中点灯: 電源キーのみ	7-9	
			着信 ランプ	イルミ ネーション	○	○	○	電話着信: パターン 1、アジュール	7-10
					○	○	×	メール着信: パターン 2、ミント	
					○	○	○	スケジュール: パターン 3、シャンパン	
					○	○	○	目覚まし: パターン 3、カナリア	
					○	○	×	通話中: OFF	
				リマインダー	○	○	×	パターン 1、カラフル	
		省電力	○	○	○	OFF	7-11		
		言語選択	○	○	○	日本語 - Japanese	7-12		
		シンプルメニュー	○	○	×	OFF	7-14		
	54	文字入力	ユーザ辞書	○	○	○	-	2-17	
			自作定型文登録	○	○	○	-	2-22	
			学習文字クリア	○	○	○	-	2-17	
	55	マナー / 留守電	マナー 登録	マナー モード	○	○	○	パイプ: ON 電話着信音量・メール着信音量・ 目覚まし音量・スケジュール音量・ 効果音・留守録音設定: OFF	2-43
					○	○	○	OFF	
				オートサイレント	○	○	○	OFF	
				受話音量	○	○	○	Vol.4	2-39
				ひそひそ設定	○	○	○	OFF	2-39
				留守録音設定	○	○	×	OFF、応答時間設定: 10 秒	2-48
			留守録音再生	○	○	×	-	2-48	
			留守番電話 (NW)	○	×	×	-	7-57	
	安全運転モード	○	○	×	OFF	2-44			
56	通信	待受モード	○	○	○	公衆	8-2		
		グループ / 転送	×	×	○	-	8-7		
		位置情報通知	○	×	×	位置情報通知 LI: OFF、 自動位置情報送出国設定: OFF	7-34		
		インターネット設定	○	○	×	-	4-26		
		通信中着信	○	○	×	音声、PIAFS 通信中着信: ON パケット通信中着信: ON	5-17		
		データ通信方式	○	○	×	ベストエフォート型	5-14		
		国際ローミング	○	×	×	国・地域 / 事業者選択: 日本 / ヴィルコム	7-53		
		オフィス番号切替	×	○	×	手動切替	8-6		
57	発信信	非通知ガード	○	○	×	通知不可能・ユーザ非通知 ・公衆電話発信: OFF	6-3		
		着信拒否	○	○	×	未登録	6-4		
		番号通知	○	○	×	ON	6-2		
		発信先応答通知	○	○	○	OFF	2-47		
		エニーキーアンサー	○	○	×	OFF	7-12		
		イヤホン自動応答	○	○	×	OFF	7-36		
		サブアドレス	○	○	×	ON	7-12		
		優先発信切替	○	○	○	オフィス、グループ優先	8-5		
		外線発信番号	×	○	×	未登録	8-4		
		自動外線発信番号付加	×	○	×	OFF	8-4		

機能設定	メニュー		機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
			公衆	オフィス	グループ		
機能設定	58	カスタム	○	×	×	—	7-15
		ボタン	○	×	×	:H-Free、:電話帳	
			○	×	×	—	
		○	×	×	:H-Free、:電話帳		
機能設定	59	その他	○	○	○	高速	7-6
			○	×	×	—	7-62
			○	○	○	ON	1-11
電話帳	61	電話帳一覧	○	○	○	表示方法：あかさたな一覧	2-32
	62	新規登録	○	○	○	—	2-28
	63	グループ設定	○	○	○	—	2-34
	64	ロック中着信表示	○	○	×	OFF	2-35
	65	シークレット一時表示	○	○	○	—	2-35
	66	登録件数表示	○	○	○	—	2-35
	67	全件削除	○	○	○	—	2-34
	7		○	○	○	—	2-37
アクセサリ	81	電卓	○	○	○	—	7-26
	82	目覚まし	○	○	○	時刻：0:00、曜日設定：一度きり、目覚まし音：アラーム2、音量：音量3 バイブ：パターン3、鳴動時間：30秒 スヌーズ：OFF	7-24
	83	ICレコーダ	○	○	○	録音優先モード設定：ON	7-27
	84	メモ帳	○	○	○	—	7-30
	85	Java™ アプリ	○	○	×	プリセットアプリ 3件	7-44
	86	マイメニュー	○	○	○	オンラインサインアップ、公式サイト、Java™アプリ	2-50
セキュリティ	91	ダイヤルロック	○	○	○	キーロック起動：OFF タイマ起動：OFF、5分	6-8
	92	暗証番号変更	○	○	○	0000	6-6
	93	メモリ使用状況 / 全削除	○	○	○	—	7-51
	94	リモートロック	○	○	×	許可パスワード登録：— サブアドレス起動：OFF ライトメール起動：OFF	6-10
	95	リセット	○	○	○	—	6-23
	96	機能ロック	○	○	○	すべてOFF	6-14
	97	管理者パスワード変更	○	○	○	0000	6-16
	98	管理者ロック*	○	×	×	OFF (先頭一致発信許可：未登録 許可ドメイン登録：未登録)	6-16

○：機能を使うことができます。

×：機能を使うことができません。

* USB 制限、赤外線制限、設定制限については、公衆、オフィスおよびグループモードで機能を使うことができます。

お知らせ

- メニュー名の左の数字は、画面上のメニュー番号を表します。待ち受け画面で●に続けてその番号を押すことで、そのメニューを実行することができます。例えば「受信BOX」の数字は「11」なので、●を押すことで表示することができます。

いろいろな機能を設定する

プロフィールを表示する

プロフィールとして、本電話機の公衆の電話番号、オフィスモードのときのオフィス番号、自分の名前、フリガナ、Eメールアドレス、および住所などを記録するメモを表示できます。このうち公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレス以外はユーザが登録します。

プロフィールを登録する

1 待ち受け画面で

2 ▶ で入力する項目を選択

- 名**：名前を入力します。
- か**：フリガナを入力します。
- @**：メールアドレスを入力します。
- 📍**：住所などのメモを入力します。

次の項目が入力・設定できます。

- **名 か** 名前とフリガナを入力する
(☞ 同じページ内です。)
- **@** メールアドレスを入力する
(☞ 同じページ内です。)
- **📍** メモを入力する (☞ 同じページ内です。)

3 必要に応じて で入力する項目を選択 ▶ 各項目を入力・設定 ▶

プロフィールが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- **☎** には、本電話機の公衆の電話番号が表示されます。
- **🏢** には、「オフィス番号切替」で選択したオフィス番号が表示されます。
- **📧** には、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。
- 公衆の電話番号、オフィス番号、オンラインサインアップで取得したEメールアドレスは、グレー表示されており編集できません。

■名前とフリガナを入力する

1 名前を入力

入力した名前の読み（フリガナ）が表示されます。

● フリガナを修正するには

-  で修正したい箇所にカーソルを移動し、 で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みを入力します。「文字を入力する」(☞ 2-13ページ)

2

名前とフリガナが入力されます。

お知らせ

- 名前は全角16文字（半角32文字）まで、フリガナは半角32文字まで入力できます。「文字を入力する」(☞ 2-13ページ)

■メールアドレスを入力する

メールアドレスを最大3件まで入力できます。また、半角64文字まで入力できます。「文字を入力する」(☞ 2-13ページ)

1 アドレスを入力 ▶ ~ のいずれかを押してアドレス種別を選択

1件登録されると2件目のアドレス入力項目にカーソルが移動します。最大3件まで続けて登録できます。

■メモを入力する

住所などをメモとしてプロフィールに入力できます。

1 メモを入力

全角50文字（半角100文字）まで入力できます。「文字を入力する」(☞ 2-13ページ)

プロフィールを表示する

登録してある「プロフィール」を表示します。

1 待ち受け画面で

2 で表示したいアイコンを選択

アイコンを選択すると、登録された情報が表示されます。

☎：本電話機の公衆の電話番号が表示されます。

🏢：オフィス面の名称とオフィス番号が表示されます。未登録の場合は「未登録」と表示されます。

: オンラインサインアップで取得したEメールアドレスが表示されます。オンラインサインアップをしていない場合はアイコンは表示されません。

: メールアドレスが表示されます。メールアドレスが未登録の場合はアイコンは表示されません。

: メモが表示されます。 (確認)を押すと、メモの全文が表示されます。メモが未登録の場合はアイコンは表示されません。

: ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

● プロフィールを一覧表示するには

  を押すと、プロフィールが一覧表示されます。

お知らせ

- 「国際ローミング」が設定されている場合、「電話番号」は「国際ローミング情報」の設定番号が表示され、 アイコンと  アイコンの間に「RM」(登録日時)が表示されます。「国際ローミング情報」の設定番号が未登録の場合、「RM」は表示されません。「国際ローミングを利用する(国際ローミング)」(※7-53ページ)
- 国際ローミングの電話番号を表示しているとき、 (国内)を押すと、国内の電話番号が表示されます。 (RM)を押すと、国際ローミングの電話番号の表示に戻ります。

プロフィールを赤外線通信で送信するには

プロフィール画面でプロフィールのデータを赤外線通信で他の電話機に送信することができます。赤外線通信を行うには、受信側の操作も必要です。「赤外線通信を行う」(※2-36ページ)

1 待ち受け画面で

2 または

選択した送信速度でデータを送信します。

3 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向け

通常送信の場合は、相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「プロフィール送信完了」と表示されます。高速送信の場合は、相手を認識しなくてもデータが送信され、送信完了後に「プロフィール送信完了」と表示されます。

お知らせ

- 国際ローミング中にプロフィールを赤外線通信で送信すると、国際ローミング番号と国内の電話番号の2つが送信されます。
- 送信後は相手にデータが送られたことを確認してください。

USBで充電する

USBケーブルでパソコンと接続中に充電できます。

USBで充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定すると「低速」のときと比べて短時間で充電できますが、パソコンの消費電流が多くなります。

USB充電を設定する

1 待ち受け画面で

2 ~ のいずれか

● (高速) を押すと

USB充電が高速に設定され、「設定しました」と表示されます。

● (低速) を押すと

USB充電が低速に設定され、「設定しました」と表示されます。

● (OFF) を押すと

USB充電が「OFF」に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「高速」に設定されています。
- 充電時間は、「高速」の場合約2.5時間、「低速」の場合約1.5時間です。本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。
- 本電話機をUSBケーブルに接続するときには、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続するとUSB充電の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- 接続するパソコンによっては、「高速」に設定していても充電に時間がかかったり、充電できないこともあります。本電話機の電源を切った状態でも同様です。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなる場合があります。本電話機の電源を切っても同様に本電話機の電池を消費します。
- バッテリー内蔵のノートパソコンをコンセントに接続しない状態で使用する場合、ノートパソコンの動作時間は、「低速」に設定したときのほうが「高速」に設定したときと比べて長くなります。

USBケーブルを接続して充電する

USBケーブルで、本電話機とパソコンを接続して充電します。「パソコンと接続する」(P.5-2ページ)

パソコンと接続して充電するには、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。「データ通信用ソフトをインストールする」(P.5-4ページ)

1 本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続する

「USB充電」が「高速」の場合は「」が、「低速」の場合は「」が表示され、充電が開始されます。充電が完了すると「」「」は消えます。

お知らせ

- USB接続後、本電話機とパソコンが相互に認識されると「」が表示され、「データ通信ON USB充電は 高速(低速/OFF)です」と表示されます。「」が表示されない場合でも「」または「」が表示されていれば充電は行われています。
- 電池パックを外した状態で本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBハブを使用している充電には対応していません。必ずパソコンのUSBポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もしかねますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機をUSBケーブルで接続したとき、画面に「」または「」が点灯した後「」が点灯し、再度「」または「」が点灯することがありますが、故障ではありません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。

日時表示を設定する

待ち受け画面に表示する日時表示を設定します。日時表示のパターンは6種類あり、表示位置や色を任意に設定できます。

1 待ち受け画面で

2 のいずれか

-  (大(日本語))を押すと
日付が日本語表示になり、時刻が大きく表示されます。
-  (大(英語))を押すと
日付が英語表示になり、時刻が大きく表示されます。
-  (中(日本語))を押すと
日付が日本語表示になり、時刻が小さく表示されます。
-  (中(英語))を押すと
日付が英語表示になり、時刻が小さく表示されます。
-  (小(日本語))を押すと
日付が日本語で表示されます。
-  (小(英語))を押すと
日付が英語で表示されます。
-  (OFF)を押すと
日時は表示されません。
選択した画面パターンがプレビュー表示されます。

- **プレビュー表示された画面パターンを変更するには**
 で前のパターン、 で次のパターンが表示されます。

- 3  **で画面パターンの表示位置を指定**
 表示可能な領域内であれば日時表示位置を移動できます。日時表示位置を画面の最下部に移動すると、ガイドランス表示の後ろに表示されます。
 短く押す：2Dotずつ移動
 約1秒以上押す：10Dotずつ移動

- 4  **で表示色を選択**
 表示色は10色用意されています。 (色)を押すごとに表示色が変わりますので、お好みの色が選択できます。

- **表示位置と色を元に戻すには**
 (リセット)を押します。表示位置は画面中央、色は「白」に戻ります。

- 5  **で日時表示が設定され、「設定しました」と表示されます。**

お知らせ

- お買い上げ時には、画面パターンは「大(日本語)」、表示位置は画面中央、色は「白」に設定されています。
- 壁紙にカレンダーを表示しているときは、日時は表示されません。
- 表示位置を決定する前に着信などの割り込みが入ると、割り込み終了後、待ち受け画面に戻ります。最初から設定してください。

日時の自動補正を設定する

自動補正を「ON」に設定すると、パケット通信開始時にネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の日時を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合、本機能を「OFF」に設定します。

- 1 待ち受け画面で   
 - 2   **で自動補正が設定され、「設定しました」と表示されます。**
- **自動補正を解除するには**
 自動補正設定時に  (OFF)を押します。自動補正が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- ネットワーク側と本電話機の時刻に約30秒以上のずれがあると自動補正されません。
- 音声通話やPIAFSによる通信時には自動補正されません。

画面の配色を設定する

ディスプレイの背景色などのパターンを選択できます。

- 1 待ち受け画面で   
- 2     のいずれか
 画面配色には4つのパターンがあります。 白(透過あり)または 黒(透過あり)を選択すると、待ち受け画面の壁紙が透過表示されます。 でパターンを選択すると、それぞれの画面配色のパターンを確認できます。
  のいずれかを押すと画面配色が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「白(透過あり)」に設定されています。

カレンダーを設定する

待ち受け画面にカレンダーやスケジュールを表示できます。「スケジュール機能を利用する」(P.7-18ページ)

- 1 待ち受け画面で   
 - 2    **でパターンを選択**
 カレンダーが設定され、「設定しました」と表示されます。
- **パターンを選択するには**
 カレンダーには10パターンがあり、 または   でパターンを切り替えることができます。
 - **パターンを一覧表示するには**
 (一覧)を押すと、パターンの一覧が表示されます。  のいずれかを押すと選択したカレンダーのパターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 待ち受け画面に壁紙が設定されているときは、壁紙の上にカレンダーが表示されます。「画像データを壁紙に設定する」(P.740ページ)

バックライトを設定する

ボタンを押したときに、ボタンと画面のバックライトを点灯するかどうか設定できます。

明るさを設定する

本電話機が動作中のときの、画面の明るさを設定できます。動作が終了してから、「点灯時間」で設定されている時間が経過すると、自動的に「レベル1」の明るさになります。

1 待ち受け画面で

2 ▶ ~ のいずれか

明るさには4つのパターンがあります。①でパターンを選択すると、それぞれの明るさのパターンを確認できます。

~ のいずれかを押しと明るさが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「レベル2」に設定されています。

点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、「明るさ」で設定されている、画面の明るさのレベルを保持する時間を設定できます。

1 待ち受け画面で

2 ▶ ~ で点灯時間を入力

5秒~59秒までで入力できます。⊙で入力したい箇所にカーソルを移動できます。点灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「8秒」に設定されています。
- 発信中または着信中に、設定した点灯時間が経過しても応答するまでは消灯しません。

消灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面が消灯するまでの時間を設定できます。

1 待ち受け画面で

2 ▶ ~ のいずれか

選択した消灯時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「30秒後」に設定されています。
- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「30秒後」に設定されています。
- で設定したディスプレイの点灯時間の設定よりも、消灯時間の設定の方が優先されます。
- 消灯時間の設定よりも で設定した省電力設定の方が優先されます。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押しと再点灯します。
- 発信中または着信中に、設定した消灯時間が経過しても応答するまでは消灯しません。

通話中点灯を設定する

通話中のバックライトの設定ができます。「ON」に設定すると、通話開始から「点灯時間」が経過したあとも、電話を切るまで「レベル1」の明るさで点灯し続けます。

1 待ち受け画面で

2 ▶

通話中点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 通話中点灯を解除するには

通話中点灯設定時に (OFF) を押します。通話中点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

キーライト点灯を設定する

キーライト(ボタンのバックライト)点灯の設定ができます。「ON」に設定すると、本電話機の動作時にキーライトが点灯します。本電話機の動作が終了してから、キーライトが消灯するまでの時間は、「点灯時間」で設定されている時間と同じです。

1 待ち受け画面で

2 [5.4] ▶ [1.4]

キーライト点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

● キーライト点灯を解除するには

キーライト点灯設定時に [2.4] (OFF) を押します。キーライト点灯が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 画面が消灯しても、ボタンを何か押すと再点灯します。

卓上ホルダでの充電中の点灯を設定する

卓上ホルダで充電しているときのバックライトの点灯を設定することができます。「ON」に設定すると、本電話機を卓上ホルダに置いてもバックライトはレベル1の明るさで点灯を続けます。

1 待ち受け画面で [5.4] [3.4] [5.4]

2 [5.4] ▶ [1.4] または [2.4]

卓上ホルダでの充電中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 設定が「ON」のとき、バックライトが消灯した状態で卓上ホルダに置くと、設定したバックライトの「明るさ」で約3秒点灯した後、レベル1の明るさで点灯します。

キーロック中の点灯を設定する

キーロック中のバックライトの点灯を設定することができます。「ボタン操作をロックする(キーロック)」(※6-7ページ)

1 待ち受け画面で [5.4] [3.4] [5.4]

2 [7.4] ▶ [1.4] または [2.4]

キーロック中の点灯が設定され、「設定しました」と表示されます。

● [1.4] (全てのキー) を押すと

キーロック中、消灯しているときに何かキーを押すとレベル1の明るさで点灯します。

● [2.4] (電源キーのみ) を押すと

キーロック中、消灯しているときに [2.4] を押すとレベル1の明るさで点灯します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「電源キーのみ」に設定されています。

着信ランプを設定する

イルミネーションを設定する

電話着信、メール着信、スケジュールの通知、目覚まし、および通話中のときの着信ランプのイルミネーション(点滅パターン)を設定できます。

1 待ち受け画面で [5.4] [3.4] [5.4]

2 [1.4] ▶ [1.4] ~ [5.4] のいずれか

● [1.4] (電話着信) を押すと

電話着信時のイルミネーションが設定できます。

● [2.4] (メール着信) を押すと

メール着信時のイルミネーションが設定できます。

● [3.4] (スケジュール) を押すと

スケジュールの通知時のイルミネーションが設定できます。

● [4.4] (目覚まし) を押すと

目覚まし鳴動時のイルミネーションが設定できます。

● [5.4] (通話中) を押すと

通話時のイルミネーションが設定できます。

3 [1.4] ~ [4.4] のいずれか

点滅周期には3つのパターンがあります。①でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

4 [1.4] ~ [6.4] のいずれか

色には8つのパターンがあります。②でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

[1.4] ~ [6.4] のいずれかを押すとイルミネーションが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、パターンと色は次のように設定されています。

電話着信	: パターン1、アジュール
メール着信	: パターン2、ミント
スケジュール	: パターン3、シャンパン
目覚まし	: パターン3、カナリア
通話中	: OFF

リマインダーを設定する

不在着信やメール受信があったときなどに、着信ランプの点滅でお知らせします。

1 待ち受け画面で

2 ▶ ~ のいずれか

点滅周期には3つのパターンがあります。④でパターンを選択すると、それぞれの点滅周期のパターンを確認できます。

3 ~ のいずれか

色には8つのパターンがあります。④でパターンを選択すると、それぞれの色のパターンを確認できます。

 ~  のいずれかを押すとリマインダーが設定され、「設定しました」と表示されます。

● 点滅中の着信ランプを消すには

ボタンを何か1つ押すと、着信ランプが消えます。ただし、待ち受け画面にオフィスのショートメッセージが表示されているときは、着信ランプが消えません。この場合、 を押すと、ショートメッセージの表示が消え、同時に着信ランプも消えます。また、キーロック中、ダイヤルロック中も着信ランプが消えません。

「ボタン操作をロックする（キーロック）」
（※6-7ページ）

「ダイヤルをロックする（ダイヤルロック）」
（※6-8ページ）

お知らせ

- お買い上げ時には、「パターン1」で「カラフル」に設定されています。

省電力モードを設定する

電池パックの消費を抑えるために画面の消費電力等を節約するように設定できます。

省電力モードを設定する

省電力モードを「ON」に設定すると、消費電力が節約されます。

1 待ち受け画面で

2 ▶ または

-  (ON) を押すと
省電力モードが設定され、「設定しました」と表示されます。
-  (OFF) を押すと
省電力モードが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 省電力モードの設定内容は変更できません。「省電力モードの内容を変更する」（※同じページ内です。）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、ディスプレイの設定よりも優先されます。「バックライトを設定する」（※7-9ページ）
- 省電力モードを「ON」にしたときは、画面が消灯時、一度、ボタンを何か押すと、画面が点灯します。

省電力モードの内容を変更する

省電力モードが「ON」のときの、日時表示、バックライトの明るさ、点灯時間、消灯時間、通話中点灯、キーライト点灯、リマインダーを設定します。

1 待ち受け画面で

2 で「ON」を選択 ▶ ~ のいずれかを押して、設定を行う

次の項目が設定できます。

-  (日時表示設定)
「日時表示を設定する」（※7-7ページ）
-  (明るさ)
「明るさを設定する」（※7-9ページ）
-  (点灯時間)
「点灯時間を設定する」（※7-9ページ）
-  (消灯時間)
「消灯時間を設定する」（※7-9ページ）
-  (通話中点灯)
「通話中点灯を設定する」（※7-9ページ）
-  (キーライト点灯)
「キーライト点灯を設定する」（※7-9ページ）
-  (リマインダー)
「リマインダーを設定する」（※同じページ内です。）

3 必要に応じて各項目を設定 ▶

省電力モードの内容が設定され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 省電力モードを「ON」にしたときのお買い上げ時の設定は、「日時表示設定」は「OFF」、「明るさ」は「レベル1」、「点灯時間」は「5秒」、「消灯時間」は「30秒後」、「通話中点灯」は「OFF」、「キーライト点灯」は「OFF」、「リマインダー」は「OFF」に設定されています。

サブアドレスを設定する

ISDN回線は、1本の回線に複数の端末を接続できるため、端末には通常の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。電話番号をダイヤルした後、「」を押してサブアドレスをダイヤルすると、希望する端末だけを呼び出せます。ISDN端末のサブアドレスにダイヤルする場合、本機能を「ON」に設定しておく必要があります。

1 待ち受け画面で

2

サブアドレスが設定され、「設定しました」と表示されます。

● サブアドレス設定を解除するには

サブアドレス設定時に  (OFF) を押します。サブアドレス設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定すると、電話番号 +  に続く番号をサブアドレス情報として発信します。「OFF」に設定すると、電話番号 +  + 番号を電話番号情報として発信します。
- サブアドレスは、「公衆モード」および「オフィスモード」で有効です。「グループモード」および「転送モード」では利用できません。
- 「オフィスモード」時、 のあとに電話番号をダイヤルして電話をかけると、 + サブアドレスを電話番号として発信します。この場合、ご希望の端末に直接電話をかけることはできません。
- 「オフィスモード」時、オフィスシステム (PBX) によってはサブアドレスによる呼び出しができないことがあります。

エニーキーアンサーを設定する

電話がかかってきたときに、 以外のボタンを押しても電話に出られるように設定できます。

本機能を設定すると、、、、、 ~ 、、、、 を押しても電話に出られるようになります。

1 待ち受け画面で

2

エニーキーアンサーが設定され、「設定しました」と表示されます。

- エニーキーアンサー設定を解除するには
エニーキーアンサー設定時に  (OFF) を押します。エニーキーアンサー設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 本機能を「ON」に設定しても、、、 では電話に出られません。

英語表示にする

各機能の表示を英語表示に設定できます。

1 待ち受け画面で

2

英語表示に設定され、「Set」と表示されます。

● 日本語表示に設定するには

言語選択設定時に  (日本語 - Japanese) を押します。日本語表示に設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「日本語 - Japanese」に設定されています。

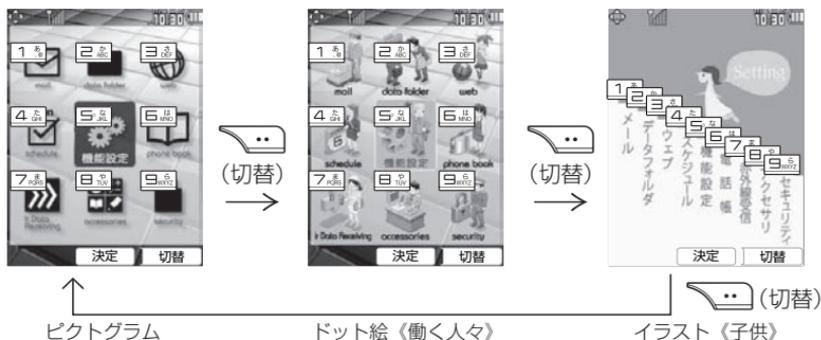
メインメニュー画面を変更する

メインメニュー画面を切り替える

メインメニュー画面の3パターンのデザインを切り替えることができます。

1 待ち受け画面で

 (切替) を押すごとに、メインメニュー画面のデザインが切り替わります。



図で示した  ~  の番号に対応する項目は、下記のとおりです。

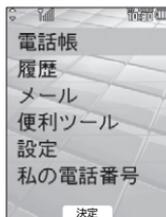
番号	項目
	メール
	データフォルダ
	Web
	スケジュール
	機能設定
	電話帳
	赤外線受信
	アクセサリ
	セキュリティ

お知らせ

- お買い上げ時には、ピクトグラムに設定されています。

シンプルメニュー画面に切り替える

シンプルメニューに切り替えると、メニューの文字サイズが大きく表示されます。



シンプルメニューを設定する

1 待ち受け画面で

2

シンプルメニューが設定され、「設定しました」と表示されます。

シンプルメニューを解除する

1 待ち受け画面から

2 で「設定」を選択 ▶

3 で「画面」を選択 ▶

4

シンプルメニューが解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- シンプルメニューの設定は、公衆モード、オフィスモード、公衆/オフィスモードでのみ行えます。
- シンプルメニューで項目を選択する場合は、 でカーソルを移動し、 を押ししてください。ダイヤルボタンでメニューの番号を押して選択する操作はできません。ただし、メインメニューで を押して私の電話番号を表示することはできます。
- シンプルメニューで文字サイズが大きくなるのは、メインメニューとその下の階層のメニュー、電話帳、発着信履歴、メール詳細画面（文字サイズが30dotに）、ブラウザ（表示倍率が125%に）などです。

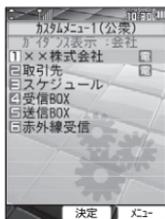
カスタムボタンを設定する

カスタムボタン  /  に、電話発信やライトメール/Eメールの起動など各種機能を設定し、機能を簡単に実行できるようにします。

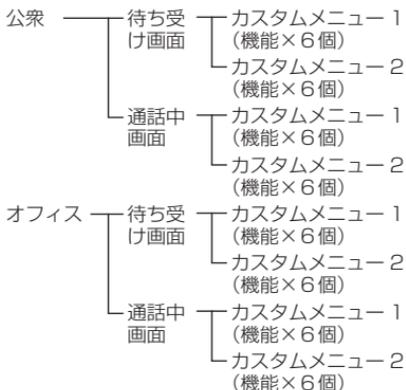
カスタムメニューと短押し／長押しでの呼び出しについて

カスタムメニューについて

待ち受け画面や通話中画面で  または  を押すと、自由に機能の設定できる「カスタムメニュー」が表示されます。 で表示されるメニューをカスタムメニュー1、 で表示されるメニューをカスタムメニュー2といいます。各カスタムメニューには6つまで機能を登録することができます。



カスタムメニューは待ち受け画面と通話中画面で異なるほか、公衆モードとオフィスモードでも異なるので、下図のように場面に応じた8種類のカスタムメニューが利用できます。



お知らせ

- カスタムメニュー表示中に自動切替によりオフィス番号が切り替わった場合、カスタムメニューに登録されているオフィス番号への発信はできません。「オフィス番号を切り替える(オフィス番号切替)」(P.8-6ページ)

カスタムボタンの短押し／長押しについて

カスタムメニューに登録した機能に「長押し」または「短押し」というショートカット(近道)を設定することができます。「長押し」は約1秒以上押す操作で、「短押し」は押してすぐ離す操作です。たとえば、カスタムメニュー1の3番目に「短押し」を設定すると、 の短押しでカスタムメニュー1の3番目の機能が実行されます。「長押し」を設定すると、長押しでその機能が実行されます。

短押し、長押しが設定されていない場合は、どちらの操作でもカスタムメニューが表示されませんが、短押しや長押し両方が設定されている場合は、該当の機能が実行されるのでカスタムメニューは表示されません。

操作	操作の結果		
	短押し設定あり	長押し設定あり	短押しも長押しも設定なし
短押しすると	短押しを設定した機能が実行される	カスタムメニューが表示される	カスタムメニューが表示される
長押しすると	カスタムメニューが表示される	長押しを設定した機能が実行される	カスタムメニューが表示される

カスタムメニューを呼び出す

カスタムメニューに登録された機能を呼び出します。

1 待ち受け画面または通話中画面で

 または 

便利な使いかた

7

カスタムボタンを設定する

カスタムメニューが表示されます。(ただし、お買い上げ時には、待ち受け画面にはカスタムメニューは登録されていないため、ガイドンスは表示されません。また、通話中画面は、短押しが設定されているため、カスタムメニューを表示するには長押しする必要があります。)

2 で実行したい機能を選択 、または ~ のいずれか

選択した機能が実行されます。

<例>

- **電話番号を選択すると**
選択した電話番号に発信します。
- **ブックマークを選択すると(待ち受け画面のみ)**
ブックマークのURLに接続します。
- **ライトメールを選択すると(待ち受け画面のみ)**
選択した電話番号を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。「ライトメールを作成して送信する」(※3-28ページ)
- **Eメールを選択すると(待ち受け画面のみ)**
選択したメールアドレスを宛先にしたEメール作成画面が表示されます。「Eメールを新規に作成して送信する」(※3-7ページ)

お知らせ

- 手順2で機能の登録されていないカスタムメニューを選択して  を押し、「カスタムメニューに登録する」(※同じページ内です。)の手順5の画面になり、メニューへの登録が行えます(待ち受け画面のみ)。
- 短押し、長押しが設定されている場合の動作については「カスタムボタンの短押し/長押しについて」(※7-15ページ)を参照してください。
- 短押し、長押しが両方とも設定されている場合は、カスタムボタンからはカスタムメニューを表示できません。カスタムメニューを表示するには、「カスタムメニューに登録する」(※同じページ内です。)の手順1~3を行ってください。

カスタムメニューに登録する

1 待ち受け画面で

2 ~ のいずれか

 (オフィス待受画面)、 (オフィス通話中画面)を押した場合は、オフィス番号選択画面が表示されるので、登録を行うオフィス番号をさらに選択してください。

3 または

カスタムメニューが表示されます。

4 で登録する番号を選択

5 ~ のいずれか(通話中画面の場合は 、 のみ)

- ** (機能) を押しと**
メインメニューが表示されるので、登録する機能を選択します。
- ** (電話番号) を押しと**
入力方法を、 (電話帳引用)、 (発着歴引用)、 (直接入力) から選択し、電話番号を入力します。
- ** (ライトメール) を押しと**
入力方法を、 (電話帳引用)、 (発着歴引用)、 (直接入力) から選択し、電話番号を入力します。
- ** (Eメール) を押しと**
入力方法を、 (電話帳引用)、 (直接入力) から選択し、メールアドレスを入力します。

6

カスタムメニューに電話番号または機能が登録され、「登録しました」と表示されます。

● 登録した機能を削除するには

手順4で  を押して表示されるメニューで、 (一件削除)、 (選択削除)、 (全件削除)のいずれかを選び、 で「Yes」を選択し、 を押し、 (選択削除)を押した場合は、チェックを付けた番号を一括して削除できます。

お知らせ

- お買い上げ時には、待ち受け画面と通話中画面のカスタムメニューには以下の機能が登録されています。通話中画面のカスタムメニュー1の1に「ハンズフリー」、カスタムメニュー2の1に「電話帳」がそれぞれ短押しで登録されています。

メニュー	待ち受け画面	通話中画面
カスタムメニュー1	登録なし	ハンズフリー  保留 ひそひそ通話 スピーカ受話 番号メモ メモ帳
カスタムメニュー2	登録なし	電話帳  通話録音 パワーサーチ スケジュール プロフィール

- 短押しや長押しが設定されていない場合は、待ち受け画面や通話中画面で または を短押しや長押ししてカスタムメニューを表示することができます。
- 公衆／オフィスモード（デュアルモード）の場合は、カスタムメニュー 1 の 7 番目に「優先発信切替」が自動的に表示されます。これを選択することに発信先が公衆とオフィスとで切り替わります。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」(P.8-5ページ)
- カスタムメニューの空欄の番号を押して手順 5 の登録画面を表示することもできます。
- すでに機能が登録されている番号に新たに機能を登録した場合は、元の機能に新しい機能が上書きされます。
- 電話番号、ライトメール、Eメールを登録すると、カスタムメニューでその項目の右端にはそれぞれ 、 のアイコンが表示されます。
- 「パワーサーチ」は、公衆モードでの通話中に入力できます。オフィスモードでは入力できません。
- 電話番号入力時には、 ~ 、、、、「ポーズ」、「フック」（オフィス通話中画面のみ）が入力できます。「フック」は保留と同じ信号を送出する機能で、 で入力します。
- 「ポーズ」と「フック」は同じ番号の中に入力できません。
- 「フック」の入力は 1 番号につき 1 回だけです。

カスタムメニューに短押し／長押しを設定する

カスタムメニューに登録されている機能に短押しや長押しを設定し、カスタムボタンのワンタッチで機能呼び出せるようにします。電話番号を登録してある場合は、ワンタッチでその番号に発信できます。

- 待ち受け画面で
- ~ のいずれか (オフィス待受画面)、
- または
- で登録する番号を選択
- または
- ガイダンスを入力

短押しまたは長押しが設定され、「登録しました」と表示されます。

ここで入力した文字列が、待ち受け画面や通話中画面の下部にカスタムボタンの名称としてガイダンス表示されます。「短押し表示について」(P.1-17ページ)

▼短押し／長押しを削除するには

短押し／長押しの設定された項目を手順 4 で選択し、手順 5 で (短押し削除) または (長押し削除) を押します。

お知らせ

- 短押し／長押しを登録すると、カスタムメニューでその項目の右端にはそれぞれ 、 のアイコンが表示されます。
- 手順 6 のガイダンス編集画面で入力できる文字数は、全角で 3 文字、半角で 6 文字までです。

ガイダンスを編集する

ガイダンス（画面に表示されるカスタムボタンの名称）は、変更することができます。

- 待ち受け画面で
 - ~ のいずれか (オフィス待受画面)、 (オフィス通話中画面) を押した場合は、オフィス番号選択画面が表示されるので、編集を行うオフィス番号をさらに選択してください。
 - または
 -
 - ガイダンスを編集
- ガイダンスが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順 6 のガイダンス編集画面で入力できる文字数は、全角で 3 文字、半角で 6 文字までです。
- カスタムボタンでカスタムメニューを表示した状態で上記の手順 4、5 を行い、ガイダンスを編集することもできます（待ち受け画面のみ）。

スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、通知音やバイブレータでお知らせします。

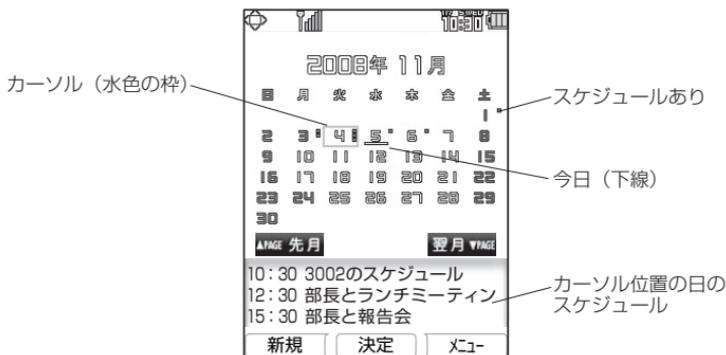
カレンダーを表示する

カレンダーを表示し、スケジュールを確認することができます。

1 待ち受け画面で 4

当月のカレンダーが表示されます。その日の日付には下線が表示されます。スケジュールが登録されている日付の右横には、登録件数の数だけ赤い点が表示されます。ただし、3件を超える場合でも3個しか表示されません。

カレンダーの下には、カーソルがある日付のスケジュールの時刻と内容が表示されます。



2 スケジュールを確認したい日にカーソルを移動する

カーソルを合わせた日のスケジュールがカレンダーの下に表示されます。

：翌日に移動します。

：前日に移動します。

：前週に移動します。最上段にカーソルがあるときは、前月の最終の同曜日に移動します。

：翌週に移動します。最下段にカーソルがあるときは、翌月の最初の同曜日に移動します。

：前月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。

：翌月の同日に移動します。当該日付がないときはその月の最終日に移動します。

● スケジュールの内容を表示するには

「スケジュールの内容を表示する」(※7-21 ページ)

お知らせ

- カーソルを移動するボタンを約1秒以上押し続けると高速スクロールします。
- 未確認のスケジュールがある日には、緑色の枠が表示されます。
- カレンダーは2000年01月01日から2099年12月31日まで表示されます。
- 祝日データは2000年から2020年までの分を収録しています。カレンダー上で祝日にカーソルを合わせると、祝日の名称がカレンダーの下に表示されます。
- 「カレンダー表示」で「スケジュールカレンダー」を選択すると、待ち受け画面にスケジュール入りのカレンダーを表示することができます。「カレンダーを設定する」(※7-8 ページ)

指定した日や今日に ジャンプする

カレンダー画面から指定の年月日やその日にカーソルを移動することができます。

1 待ち受け画面で

2 ~ で移動先の年月日を入力

指定した日を含む月のカレンダーが表示されます。カーソルは、指定した日に移動します。

● 今日にジャンプするときは

(今日) を押します。

スケジュールを登録する

カレンダーを表示し、任意の日時に、最大1000件までスケジュールを登録できます。カレンダーの日付は2000年01月01日から2099年12月31日まで選択できます。

スケジュールを登録する

1 待ち受け画面で

2 登録したい日にカーソルを移動 で入力する項目を選択

次の項目が入力・設定できます。

● 日時を入力する (※ 同じページ内です。)

● 内容を入力する (※ 同じページ内です。)

● 場所を入力する (※ 同じページ内です。)

● 通知設定を入力する (※ 同じページ内です。)

3 必要に応じて で入力する項目を選択 各項目を入力・設定

スケジュールが登録され、「登録しました」と表示されます。

■ 日時を入力する

用件の日付、開始時刻、終了時刻を入力することができます。

1 ~ で「日付」を入力

「日付」には選択した日付がセットされています。必要に応じて変更します。 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

2 でカーソルを「開始時刻」に移動 ~ で「開始時刻」を入力

00:00から23:59までで入力します。 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

3 ~ で「終了時刻」を入力 開始時刻と同じか、それ以降の時間を入力します。日をまたがる時刻設定はできません。

● 「終日」に設定するには

(終日) を押します。

■ 内容を入力する

用件の内容を入力することができます。

1 内容を入力

全角45文字 (半角90文字) まで入力できます。

「文字を入力する」 (※ 2-13ページ)

■ 場所を入力する

用件の場所を入力することができます。

1 場所を入力

全角27文字 (半角54文字) まで入力できます。

「文字を入力する」 (※ 2-13ページ)

■ 通知設定を入力する

スケジュールを通知するように設定できます。通知するよう設定すると、スケジュールの一覧画面に「△」が表示されます。

1 ~ のいずれか

● (通知する) を押すと

スケジュールの開始時刻になったら通知します。

● (事前通知する) を押すと

「事前通知」画面が表示されるので、事前に通知する時間を5分から99分までの間で1分単位で入力し、 を押します。 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

● (通知しない) を押すと

スケジュール通知は行いません。

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」は「通知しない」に設定されています。
- お買い上げ時には、「事前通知」の時間は「5分前」に設定されています。
- 通知時刻になると、該当するスケジュールが画面に表示されます。スケジュール音やバイブレータを設定すると、音やバイブレータでも知ることができます。「スケジュール音を設定する」(※同じページ内です。)
- スケジュールに登録するには、あらかじめ本電話機の日時を設定しておきます。「日時を設定する」(※1-19ページ)
- スケジュールが1000件登録されていると、新規登録はできません。
- スケジュール登録中に、電話着信、目覚まし、およびスケジュールの割り込みがあったときは、各機能終了後、スケジュール登録中の画面に戻ります。引き続き文字入力が行えます。

スケジュール音を設定する

スケジュールを通知するときに、音を鳴らしたり、バイブレータを振動させたりすることができます。

1 待ち受け画面で

2 ~ で設定したい項目を選択し、入力・設定

次の項目が入力・設定できます。

-  (スケジュール音) (※同じページ内です。)
-  (音量) (※同じページ内です。)
-  (バイブ) (※同じページ内です。)
-  (鳴動時間) (※同じページ内です。)

(スケジュール音)

スケジュールを通知するときのサウンドを設定できます。

1 または

-  (固定サウンド) を押すと
固定サウンドの中からスケジュール音を選択します。
 でスケジュール音を選択し、 を押します。
スケジュール音を設定され、「設定しました」と表示されます。
-  (データフォルダ) を押すと
データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、スケジュール音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていなければ、この項目は選択できません。

「全データ表示」「サウンド」「録音」「ユーザーデータ」または「その他」を選択します。
 でスケジュール音を選択し、 を押します。
スケジュール音を設定され、「設定しました」と表示されます。

● メロディを聞くには

 でメロディを選択して  (再生) を押すと、メロディが再生されます。この場合、 で次のメロディ、 でのメロディを再生します。再生を終了するには、 (停止) または  を押します。

● 音量を調節するには

メロディ再生中に、 で音量の調節ができます。

(音量)

スケジュールを通知するときの音量を設定できます。

1 で音量を選択

● 再生を停止するには

 を押します。

音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

(バイブ)

スケジュールを通知するときのバイブレータのパターンを設定できます。
バイブレータには6つのパターンがあります。

1 ~ のいずれか

パターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

● バイブパターンを確認するには

 でパターンを選択すると、そのバイブパターンを確認できます。

(鳴動時間)

スケジュールを通知するときの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。
1秒~60秒までの間で1秒単位で入力できます。

1 ~ で鳴動時間を入力

鳴動時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「通知設定」の「スケジュール音」は「アラーム1」、「音量」は「VOL.3」、「パイプ」は「OFF」、「鳴動時間」は「30秒」に設定されています。
- 「通知設定」で、「通知する」のときは開始時刻に、「事前通知する」のときは通知設定時刻になると、画面にスケジュールが表示されます。「通知されたスケジュールの内容を確認する」(※7-22ページ)
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後にスケジュールが通知されます。
- 電源を切っているときに設定時刻になった場合は、スケジュール音は鳴りません。

休日を設定する

スケジュールのカレンダーで任意の日を選択し、休日として設定できます。土日も選択できます。上限はありません。

1 待ち受け画面で

2 休日を設定する日付にカーソルを合わせ

選択した日付が休日に設定され、「設定しました」と表示されます。休日設定された日付は赤色で表示されます。

● 休日設定を解除するには

休日設定された日付にカーソルを合わせて  (メニュー) を押し、 (休日設定解除) を押します。休日設定が解除され、「解除しました」と表示されます。休日設定が解除されると、日付の色は元の色に戻ります。

スケジュールの内容を表示する

スケジュールは、1ヶ月のカレンダー上で表示するだけでなく、1日ごとや1週間ごとの一覧、全スケジュールの一覧を表示することができます。通知されたスケジュールを確認したり、登録件数を確認することもできます。

1日分のスケジュールを表示する

1 待ち受け画面で

2 スケジュールを表示する日付にカーソルを移動 でスケジュールを選択

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

● 一日に7件以上のスケジュールがあるときは

 で前ページが、 で次ページが表示されます。

お知らせ

- スケジュールの一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- スケジュールの一覧画面では、 で翌日の、 で前日のスケジュールが表示されます。

1週間分のスケジュールを表示する

1 待ち受け画面で

2 スケジュールを表示する週にカーソルを移動 でスケジュールを選択

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

● 一週間に7件以上のスケジュールがあるときは

 で前ページが、 で次ページが表示されます。

お知らせ

- スケジュール一覧では、スケジュールは開始時刻が早い順に表示されます。
- 週間スケジュール一覧では、 で次の週の、 で前の週のスケジュールが表示されます。

全スケジュールを表示する

登録されているスケジュールをすべて表示することができます。

1 待ち受け画面で

2 でスケジュールを選択

選択したスケジュールの詳細画面が表示されます。

● 7件以上のスケジュールがあるときは

 で前ページが、 で次ページが表示されます。

通知されたスケジュールの内容を確認する

スケジュールの「通知設定」が「通知する」または「事前通知する」の場合、通知の時刻になるとバックライトが点灯し、スケジュールの詳細画面が表示され、設定に応じてスケジュール音やバイブレータが鳴動し、着信ランプのイルミネーションが点灯します。「イルミネーションを設定する」(P7-7-10ページ)

1 スケジュールが通知される

音とバイブレータを途中で停止するには、ボタンを何か1つ押します。

2 スケジュールを確認したら、 または

■未確認のスケジュールの内容を表示する

スケジュールが通知されたあと  または  を押さずに約30秒経過した場合などは、待ち受け画面に「スケジュール ○○件」と未確認のスケジュール件数が表示され、画面上部に「」が表示されます。

未確認のスケジュールは次の手順で内容を確認することができます。

1 待ち受け画面で

未確認のスケジュールのうち、一番日付の古いスケジュールの一覧画面が表示され、スケジュールの内容を確認できます。

2

カレンダーが表示されます。

3

待ち受け画面に戻ります。未確認スケジュールが残っている場合は、「スケジュール ○○件」と「」が表示されるので、手順1、2を繰り返して未確認スケジュールを確認してください。

お知らせ

- 通知設定の日時が同じで開始時刻が同じ場合、終了時刻の早いほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 通知設定の日時が同じで開始・終了時刻が同じ場合、後で登録したほうのみ通知され、通知されなかったスケジュールは未確認スケジュールとなります。
- 機能ロックで「スケジュール」がONに設定されている場合、通知時刻になるとスケジュールの詳細画面ではなく、「スケジュール通知(ロック中です)」と表示されます。

登録件数を確認する

1 待ち受け画面で

2

スケジュール登録件数が表示されます。 でカレンダー画面に戻ります。

スケジュールの内容を変更する

登録されたスケジュールの内容を変更できません。また、登録済みのスケジュールをもとにして、新たなスケジュールを作成することもできます。

1 待ち受け画面で

2 変更するスケジュールの日付にカーソルを合わせ ▶ で変更するスケジュールを選択 ▶

● (コピー&編集) を押すと

コピーされたスケジュールが表示されるので、必要に応じて各項目を編集して  (登録) で登録します。

3 で変更する項目を選択 ▶ 内容を編集

スケジュールが変更され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- 手順2の代わりに、 で変更するスケジュールを選択して  を押し、 (編集) を押し変更することもできます。

スケジュールを削除する

登録したスケジュールを削除できます。

1 待ち受け画面で

2 削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせ ▶ で削除するスケジュールを選択

3 ▶ ~ のいずれか

● (一件削除) を押すと

選択したスケジュール1件だけを削除します。

● (選択削除) を押すと

その日のスケジュールの画面が表示されるので、 で削除するスケジュールを選択して  (チェック) を押します。スケジュールの先頭に「」が付きます。チェックを

外すときは、再度  (チェック) を押します。全件選択する場合は、 (全件選択) を押します。チェックをすべて外す場合は、 (全件解除) を押します。削除するスケジュールの選択を終えたら  (削除) を押します。

●  (当日全件削除) を押すと

その日のすべてのスケジュールを削除します。

4  で「Yes」を選択 

スケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 週間スケジュール一覧の場合は、 (メニュー) を押し、サブメニューで  (今週全件削除) を押すと、1週間分のスケジュールが全件削除されます。「1週間分のスケジュールを表示する」(※7-21ページ)

前日までのスケジュールを全件削除する

前日までのスケジュールを全件削除できます。

1 待ち受け画面で  (4)

2 削除するスケジュールの日付にカーソルを合わせ  (7)

3  で「Yes」を選択 

前日までのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、前日までのスケジュールを削除することができます。全スケジュール一覧でスケジュールを選択し、 (メニュー) を押してサブメニューで  (前日まで削除) を押します。
- 前日までのスケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」(※7-21ページ)
- 前日とは、カレンダー表示でカーソルがある日付の前日を指します。

スケジュールを全件削除する

登録したスケジュールを全件削除することができます。

1 待ち受け画面で  (4)

2   ▶ 暗証番号認証を行う

3  で「Yes」を選択 

すべてのスケジュールが削除され、「削除しました」と表示されます。

「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

お知らせ

- 全スケジュールの一覧でも、全件削除ができます。全スケジュール一覧で  (メニュー) を押し、サブメニューで  (全件削除) を押します。
- スケジュールを全件削除しても、休日の設定は削除されません。「休日を設定する」(※7-21ページ)

目覚ましを利用する

指定した日時に目覚ましを鳴らすことができます。目覚ましを鳴るときには着信ランプのイルミネーションも点灯します。「イルミネーションを設定する」(P.7-10ページ) 目覚ましを止めても約5分後に再び鳴らすスヌーズ機能もありません。目覚ましは3件登録できます。

1 待ち受け画面で

2 で登録する場所を選択 ▶ で「ON」に切り換え ▶ ~ ~ のいずれかを押し、設定を行う

どの項目からでも設定できます。
次の項目が設定できます。

-  (時刻) (P.7-10ページ内です。)
-  (曜日設定) (P.7-10ページ内です。)
-  (目覚まし音) (P.7-10ページ内です。)
-  (音量) (P.7-10ページ内です。)
-  (パイプ) (P.7-10ページ内です。)
-  (鳴動時間) (P.7-25ページ)
-  (スヌーズ) (P.7-25ページ)

3 必要に応じて各項目を設定 ▶

目覚ましに登録され、「登録しました」と表示されます。
本機能を設定すると、待ち受け画面に「」が表示されます。

- 目覚ましを鳴ったときに音を止めるにはいずれかのボタンを何か1つ押します。目覚ましの音や振動が停止します。また、ボタンを何も押さなくても、設定した鳴動時間が経過すると停止します。

■ (時刻)

目覚ましを鳴らす時刻を設定できます。

1 ~ で時刻を入力し

00:00 ~ 23:59までで入力できます。
 で入力したい箇所にカーソルを移動できます。

■ (曜日設定)

目覚ましを鳴らす曜日を設定できます。

1

- 一度だけ目覚ましを鳴らすには

 (一度きり) を押します。曜日には関係なく、一度だけ動作する設定になります。

2 で曜日を選択 ▶

■ (目覚まし音)

目覚ましの音を設定できます。

1 または

-  (固定サウンド) を押すと

固定サウンドの中から目覚まし音を選択します。 で目覚まし音を選択し、 を押します。

-  (データフォルダ) を押すと

データフォルダの中に保存されているサウンドデータの中から、目覚まし音を選択します。データフォルダにサウンドデータが保存されていない場合は、この項目は選択できません。「全データ表示」「サウンド」「録音」「ユーザデータ」または「その他」を選択します。 で目覚まし音を選択し、 を押します。

- メロディを聞くには

 でメロディを選択して  (再生) を押すと、メロディが再生されます。この場合、 で次のメロディ、 で前のメロディを再生します。再生を終了するには、 (停止) または  を押します。

- 音量を調節するには

メロディ再生中に、 で音量の調節ができます。

■ (音量)

目覚ましの音量を設定できます。

1 で音量のレベルを選択

- ◎ : 音量レベルが上がります。
- : 音量レベル下がります。

STEP ▲ : 音量レベルが「VOL.1」から「VOL.5」の順で5秒ごとに1レベルずつ上がり、その後「VOL.5」の音量が継続されます。

STEP ▼ : 音量レベルが「VOL.5」から「VOL.1」の順で5秒ごとに1レベルずつ下がり、その後「VOL.1」の音量が継続されます。

- 音量を確認するには

 (再生) を押すと、設定したメロディが選択中の音量で再生されます。再生を停止するには、 (停止) を押します。

■ (パイプ)

目覚ましのパイプレータのパターンを設定できます。パイプレータには6つのパターンがあります。

1 [1.3] ~ [7.3] のいずれか

③ でパターンを選択すると、それぞれのバイブレータのパターンを確認できます。

- [6.3] (バイブ後サウンド鳴動) を押すと
目覚ましの設定時刻にバイブレータが動作し、約 10 秒後に目覚まし音も鳴ります。
- バイブレータの設定を解除するには
バイブレータ設定時に、[7.3] (OFF) を押します。

■ [6.3] (鳴動時間)

目覚ましの音やバイブレータの鳴動時間を設定できます。

1 [0.3] ~ [9.3] で鳴動時間を入力

1 秒 ~ 60 秒までで入力できます。③ で入力したい箇所カーソルを移動できます。鳴動時間が設定されます。

■ [7.3] (スヌーズ)

設定した時間に目覚まし鳴ったあと、約 5 分間隔で 5 回まで目覚ましを鳴らすことができます。

1 [1.3]

- スヌーズの設定を解除するには
スヌーズ設定時に、[8.3] (OFF) を押します。
- 目覚まし鳴ったあとに音や振動を止めるには
スヌーズ中の目覚まし音や振動は、いずれかのボタンを何か 1 つ押すと一時的に止められます。[9.3] または [0.3] を押すと、「スヌーズを解除しますか?」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して [0.3] を押すと、スヌーズが解除され、目覚まし音の繰り返しは停止します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「時刻」は「0:00」、「曜日設定」は「一度きり」、「目覚まし音」は「アラーム 2」、「音量」は「VOL.3」、「バイブ」は「パターン 3」、「鳴動時間」は「30 秒」、「スヌーズ」は「OFF」に設定されています。
- マナーモードやオートサイレントモードを設定しているときは、それらのモードが有効になります。
- 目覚ましを 2 件以上設定していて、設定時刻が重なるときは、設定時刻の遅いほうが優先されます。先に鳴っていた目覚ましは、次の目覚まし鳴った時点で、スヌーズも含めて停止します。3 件の目覚ましの設定時刻が同時のときは、「目覚まし 1」が優先されます。
- 通話中に設定時刻になった場合は、通話終了後に目覚まし音が作動します。
- 電源を切っているときに設定時刻になった場合は、目覚ましは鳴りません。

電卓を利用する

10桁までの足し算、引き算、掛け算、割り算ができます。

1 待ち受け画面で

電卓画面が表示されます。

2 各ボタンで計算式を入力する



各ボタンの機能は次のとおりです。

-  : 0～9 (数字)
-  : 足し算
-  : 引き算
-  : 掛け算
-  : 割り算
-  : 合計
-  : 電卓を終了して元の画面に戻ります。数字入力中はボタンは「AC」(オールクリア)になります。
-  : 小数点
-  : 逆数切り替え
-  : +/−切り替え
-  : クリア

3

計算結果が表示されます。

お知らせ

-  (小数点) を押したあと、小数点以下を入力する前に、 を操作したときは、小数点入力がキャンセルされます。
- 計算結果が11桁以上になったときは、「ERROR」と表示され、計算できません。
- 計算中に、メールを受信したときや、スケジュールのアラーム時刻になったときなどは、それぞれの動作が優先され、計算は中止されます。

ICレコーダを利用する

音声の録音や再生ができます。また、録音した音声データをEメールに添付できます。

音声を録音する

1 待ち受け画面で

2

「録音優先モード設定」が「ON」の場合は、手順2のあとに「録音機能に入ると圏外状態となりますか?」と表示されるので、 で「Yes」を選択し、 を押してください。

3

録音開始音が鳴り、録音が始まります。画面には、録音時間と録音可能時間が「時間:分:秒」の形式で表示されます。



● 録音を中止するには

または を押すと、「録音を中止しますか?」と表示されます。この場合、「Yes」を選択して を押します。

4

録音停止音が鳴り、録音が停止します。本体へ保存中と表示されたあとに、「保存しました」と表示され、音声データが保存されます。

お知らせ

- オートサイレントモードまたはマナーモードのときは、録音開始音、録音停止音は鳴りません。
- 音声データの名前は、録音時の年月日時分となり。例えば、2007年1月23日4時56分の録音であれば、データ名は「0701230456」になります。
- 合計1000件まで保存することができます。
- 音声が必要な音量で録音できるように、マイクから近距離でお使いください。

保存先の容量が足りない場合

留守録音を設定していると、録音可能容量が足りなくなった場合、待ち受け画面に「」が表示されます。この状態で音声データを録音しようとする「空き容量が足りません 整理しますか?」と表示されます。不要なデータを整理する場合、「Yes」を選択して を押します。データ保存先のフォルダが表示されるので、不要なデータを削除してください。「留守録音を設定する」(P.248ページ)

録音優先モードを設定する

録音を電話着信、目覚まし、スケジュールの通知より優先するかどうかを設定することができます。

1 待ち受け画面で

2 または

● (ON) を押すと

録音が優先されます。録音前や録音中は圏外状態となり電話を受けることができません。目覚ましやスケジュール通知は、録音が終了したあとに鳴動します。

● (OFF) を押すと

録音前や録音中でも、電話の着信、目覚まし、スケジュール通知が可能です。録音中だった場合は、録音は中断され、その時点までの録音データが自動的に保存されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

音声を再生する

1 待ち受け画面で

2

プレイリスト画面が表示されます。

: 未再生のデータです。

: 再生済みのデータです。

● 音声データを編集、削除するには

(メニュー) を押すと、サブメニューが表示されます。タイトル名編集、Eメール添付、詳細情報、ソート、一件削除、選択削除、および全件削除の設定ができます。「音声データを編集する」(P.7-28ページ)

3 で音声データを選択

選択した音声データの録音日時、データ名、録音時間が表示されます。

4 ●

再生が開始されます。

● 停止するには

() を押すと、停止します。もう一度 () を押すと、手順2のプレイリスト画面に戻ります。

● 一時停止するには

● () を押すと、一時停止します。再度、● () を押すと、続きから再生します。

● 早送りをするには

◎ () で10倍のスピードで早送りをします。再度、◎ () で30倍のスピードになります。再度、◎ () で360倍のスピードになります。もう一度、◎ () で10倍のスピードに戻ります。早送り中に● () を押すと、続きから再生します。

● 巻き戻しするには

◎ () で10倍のスピードで巻き戻しをします。再度、◎ () で30倍のスピードになります。再度、◎ () で360倍のスピードになります。もう一度、◎ () で10倍のスピードに戻ります。巻き戻し中に● () を押すと、続きから再生します。

● レシーバから音を聞くには

再生中に () を押します。スピーカに切り替えるには () を押します。

● 音量を調節するには

再生中に、◎ () または◎ () で音量を調節します。

お知らせ

- 手順3の画面(再生前画面)や手順4の画面(再生中画面)では、 で前の音声データ、 で次の音声データに切り替えることができます。
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音内容を再生しようとする、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して●を押すと、再生前の確認画面が表示されます。
- 早送り中や巻き戻し中は、音声は聞こえません。
- 再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

音声データを編集する

タイトル名を編集する

音声データの名前は、録音時の日時をもとに自動的に設定されますが、変更することもできます。

- 待ち受け画面で ●
- ▶ ● で編集する音声データを選択 ▶ () ▶ タイトルを編集 ●

Eメールに音声データを添付する

- 待ち受け画面で ●
- ▶ ● で添付する音声データを選択 ▶ () ▶ Eメールを作成 ●

「Eメールを新規に作成して送信する」(※3-7ページ)、「ファイルを添付する」(※3-8ページ)

詳細情報を表示する

音声データのファイル名、データサイズ、作成日時など詳細情報を表示することができます。

- 待ち受け画面で ●
 - ▶ ● で詳細情報を表示させる音声データを選択 ▶ ()
- 詳細情報が表示されます。「データの詳細情報を表示する」(※7-48ページ)

音声データを並べ替える

- 待ち受け画面で ●
 - ▶ () ▶ () ~ () のいずれか
- 選択した順で音声データが並べ替えられます。

音声データを削除する

- 待ち受け画面で
 - ▶ ● で削除する音声データを選択
 - ▶ () ~ () のいずれか
- () (一件削除) を押すと
選択した音声データ1件だけを削除します。

● (選択削除) を押すと

プレイリスト画面が表示されるので、 で削除する音声データを選択して  (チェック) を押します。音声データの先頭に  が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押します。

全件選択する場合は、  (全件選択) を押します。

チェックをすべて外す場合は、  (全件解除) を押します。

削除する音声データの選択を終えたら  (削除) を押します。

● (全件削除) を押すと

すべての音声データを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」(P.6-6ページ)

4 で「Yes」を選択

音声データが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「削除中」と表示されているときに  を押すと、その時点までのデータを削除し、処理を中断します。
- 削除対象の音声データの中に、他の機能で設定しているデータが含まれている場合、設定データを削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して  を押すと、設定データも含め選択したすべての音声データが削除されます。

メモ帳を利用する

メモ帳には、1件あたり全角5000文字までのメモを登録することができます。

メモを入力する

- 1 待ち受け画面で   
 - 2  ▶ 文字を入力  ▶ ファイル名を編集 
- メモが登録され「登録しました」と表示されま
す。
- **ファイル名について**
ファイル名には、メモの内容の先頭部分が自動的に表示されます。先頭部分が空行の場合は年月日時分がファイル名として表示されます。必要に応じてファイル名を編集してください。全角30文字（半角60文字）まで入力できます。

お知らせ

- 全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。「文字を入力する」(※2-13ページ)
- 保存時に「空き容量が足りません」と表示されたときは、不要なデータを削除した後、保存することができます。

メモを表示する

登録したメモの内容を表示します。

- 1 待ち受け画面で   
 - 2  でメモを選択 
- メモの内容が表示されます。

お知らせ

- データフォルダで、「その他」フォルダに保存されているメモを表示することもできます（編集することはできません）。「テキストデータを開く」(※7-43ページ)

メモを編集する

メモの内容やファイル名を編集します。

メモの内容を編集する

- 1 待ち受け画面で   
- 2  で編集するメモを選択 ▶   ▶ メモの内容を編集 

メモのファイル名を編集する

- 1 待ち受け画面で   
- 2  で編集するメモを選択 ▶   ▶ ファイル名を編集 

ファイル名が変更されます

Eメールにメモを添付する

- 1 待ち受け画面で   
 - 2  でEメールに添付するメモを選択 ▶   ▶ Eメールを作成 
- 「Eメールを新規に作成して送信する」(※3-7ページ)、「ファイルを添付する」(※3-8ページ)

お知らせ

- 通話中はEメール添付は行えません。

メモを並べ替える

- 1 待ち受け画面で   
- 2   ▶  ~  のいずれか
選択した順でメモが並べ替えられます。

メモを削除する

登録されているメモの削除ができます。

1 待ち受け画面で  

2  で削除するメモを選択

3    ~  のいずれか

●  (一件削除) を押すと

選択したメモ1件だけを削除します。

●  (選択削除) を押すと

メモ帳画面が表示されるので、 で削除するメモを選択して  (チェック) を押しします。メモの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押しします。

全件選択する場合は、   (全件選択) を押しします。

チェックをすべて外す場合は、   (全件解除) を押しします。

削除するメモの選択を終えたら  (削除) を押しします。

●  (全件削除) を押すと

すべてのメモを削除します。暗証番号認証を行います。「暗証番号で認証を行う」(P.6-6ページ)

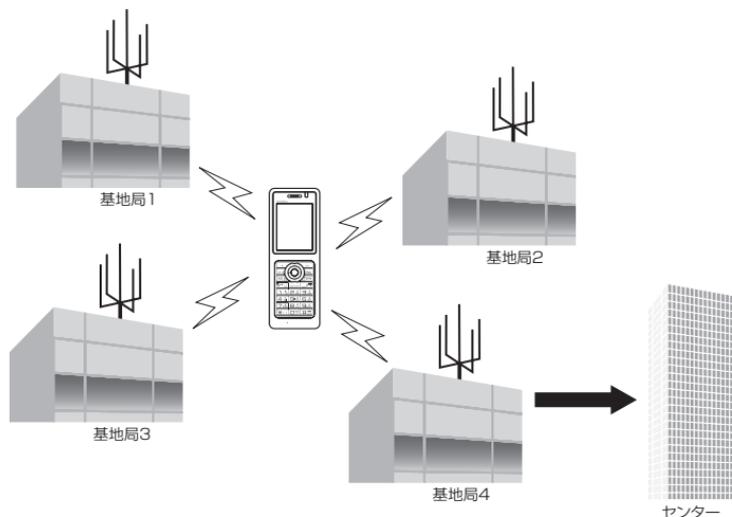
4  で「Yes」を選択 

メモが削除され、「削除しました」と表示されます。

位置情報を利用する

位置情報通知機能の概要

位置情報通知機能とは、本電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、発信型（自己位置通知機能）と着信型（位置検索機能）があります。



便利な使いかた

7

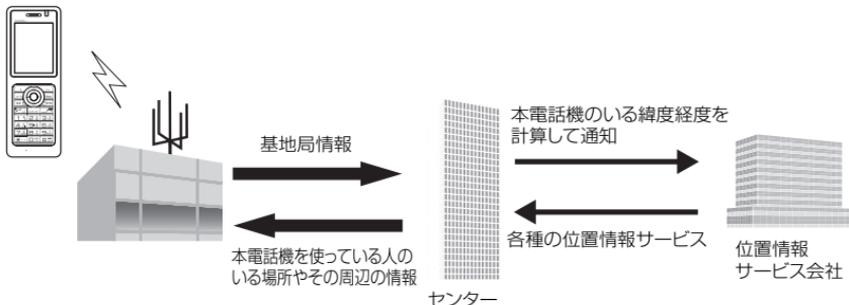
位置情報を利用する

基地局の電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。ウィルコムでは位置情報サービスを利用した「ウィルコム位置検索サービス」を提供しています。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(☎ A-10 ページ)

■発信型機能（自己位置通知機能）

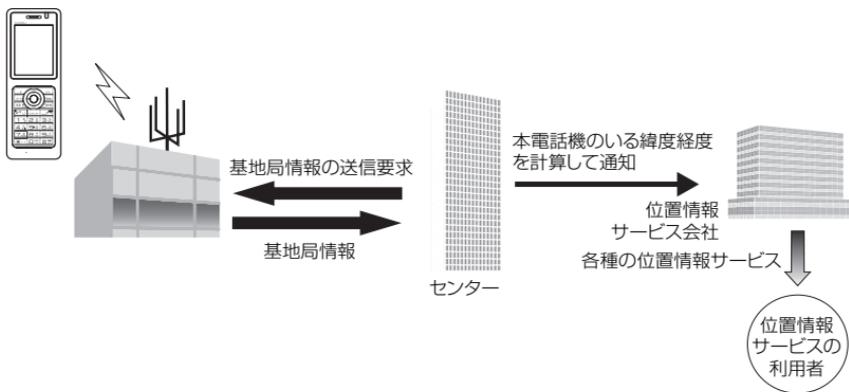
本電話機からセンターに基地局情報を通知し（発信）、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。

センターは受け取った基地局情報をもとに、本電話機のある場所を算出し、位置情報サービス会社に通知します。この情報をもとに、位置情報サービス会社は各種情報サービスを提供します。



■着信型機能（位置検索機能）

センターからの問い合わせ（着信）に応じて、本電話機の基地局情報をセンターに通知し、第三者が本電話機の位置情報を知ることができる機能です。



便利な使いかた

7

位置情報を利用する

発信型機能を利用する

発信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定する必要があります。

位置情報通知LIを設定する

1 待ち受け画面で

2 ▶ または

● (ON) を押すと

着信型機能をご利用になります。「着信型機能を利用する」(※同じページ内です。)の手順3以降へ進んでください。

● (OFF) を押すと

発信型機能のみをご利用になります。位置情報を通知する準備は終了です。

お知らせ

- お買い上げ時には、「位置情報通知LI」は「OFF」、「自動位置情報送設定」は「OFF」に設定されています。

位置情報を通知する

サブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式の2種類の通知方法があります。

■サブアドレス方式で通知する

1 待ち受け画面で を約1秒以上押す入力画面に「♥」が表示されます。

2 「ダイヤルボタン」でセンターの電話番号を入力 ▶ または

センターに位置情報が通知され、位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

● 番号入力画面で を押すと

発信履歴、着信履歴、および番号メモを使用できます。また、 (メニュー) を押すと、料金分計、電話帳引用、およびポーズを使用できます。

「記録されている電話番号にかける(発信履歴/着信履歴/番号メモ)」(※2-3ページ)
「料金分計サービスを利用する(有料)」(※7-57ページ)

「電話帳/ブックマーク/プロフィール/メモ帳から引用する」(※2-23ページ)
「ポーズを利用する」(※2-5ページ)

■ユーザ・ユーザ方式で通知する

位置情報のみの登録と、ステータスコード付きの位置情報登録の2種類があります。

◆ 位置情報のみを登録するには

1 待ち受け画面で を約1秒以上押す (メニュー) を押すと、料金分計が使用できます。「料金分計サービスを利用する(有料)」(※7-57ページ)

2 または

◆ ステータスコード付きの位置情報を登録するには

ステータスコードについては、ご利用の位置情報サービス提供会社にお問い合わせください。「位置情報通知機能の概要」(※7-32ページ)

センターへ登録するステータスコードが「10」のときの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で

● (メニュー) を押すと

ライトメール作成、184、186、料金分計、電話帳引用、およびポーズを使用できます。「ライトメールを作成して送信する」(※3-28ページ)

「発信者番号通知を設定する(番号通知)」(※6-2ページ)

「料金分計サービスを利用する(有料)」(※7-57ページ)

「電話帳/ブックマーク/プロフィール/メモ帳から引用する」(※2-23ページ)

「ポーズを利用する」(※2-5ページ)

● (登録) を押すと

番号を電話帳へ登録できます。「電話帳に登録する」(※2-28ページ)

2 または

着信型機能を利用する

着信型機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定し、自動位置情報送設定を「ON」に設定する必要があります。

自動位置情報送設定をする

通知許可番号、着信音設定、および自動送出機能の設定ができます。センターからの位置情報送の問い合わせ(着信)に対して、自動的に位置情報を送出する設定です。

1 待ち受け画面で

2

3 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

4 ~ で通知許可番号を入力

20桁まで入力できます。
センターから位置情報送出手の問い合わせ（着信）があったときに、センターへ自動的に位置情報を送出する際の番号設定です。自動的に送出不いようにするには、手順7を参照してください。通知許可番号が設定されていないときには、「自動送出手機能」は選択できません。

● 通知許可番号を入力しなおすには

手順5で通知許可パスワードを何も入力していない状態であれば、 を押すと手順3の自動位置情報送出手設定画面に戻ります。また、手順5で通知許可パスワードを入力しても  を押す前であれば、（戻る）を押すと、手順3の自動位置情報送出手設定画面に戻ります。手順4の操作から始めてください。

5 ~ で通知許可パスワードを入力

8桁まで入力できます。全桁0で設定することはできません。自動位置情報送出手設定が「ON」になり、通知許可番号が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を設定すると、待ち受け画面に「」が表示されます。

引き続き「着信音設定」や「自動送出手機能」の設定をするときは、手順6へ進んでください。終了するときは、 を押します。

● 通知許可パスワードを修正するには

許可パスワードを入力しても、 を押す前に  を押すと、入力した数字が右端から消えます。

6 自動位置情報送出手設定画面で   「設定しました」と表示され、着信音が設定されます。

● 着信音を鳴らさなくするには

（OFF）を押します。着信音の設定が解除され、「解除しました」と表示されます。

7 自動位置情報送出手設定画面で  

手順4で入力した通知許可番号で、センターより位置情報送出手の問い合わせ（着信）があったときに、自動的に位置情報をセンターへ送出手します。本機能を設定すると、待ち受け画面に「」が表示されます。

● 自動的に送出不いようにするには

（OFF）を押します。「解除しました」と表示され、待ち受け画面の「」が消えます。自動送出手機能は一時的に解除されますが、通知許可番号や通知許可パスワードの設定は削除されません。

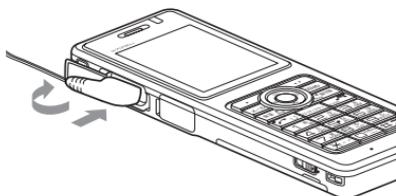
お知らせ

- お買い上げ時には、「着信音設定」は「ON」、「自動送出手機能」は「ON」に設定されています。

イヤホンマイクを利用する

イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（平型プラグ）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。イヤホンはモノラル対応ですので、ステレオイヤホンを接続してもモノラルで再生されます。



ご注意（防水タイプWX330Jのみ）

- イヤホンマイクを装着していないときは、イヤホンマイク端子のキャップは完全に閉じてください。キャップを完全に閉じないと、十分な防水効果が得られず、本体内部への浸水の原因となります。

イヤホン装着時の鳴動先を設定する

イヤホンマイクを装着している状態で電話がかかってきたときに、鳴動先を電話機本体にするか、イヤホンマイクにするかを設定します。

1 待ち受け画面で

2 または

イヤホン装着時の鳴動先が設定され、「設定しました」と表示されます。

● （本体）を押すと

電話がかかってきたときに、電話機本体が鳴動します。

● （イヤホン）を押すと

電話がかかってきたときに、イヤホンマイクが鳴動します。

お知らせ

- お買い上げ時には「本体」に設定されています。
- イヤホン装着時鳴動先の設定は、イヤホン装着時のときだけ有効です。

イヤホン自動応答を設定する

電話がかかってきたときに、イヤホンマイクで自動的に電話を受け取ることができるように設定できます。本機能を「ON」に設定すると、着信音が約5秒鳴った後に、イヤホンマイクで自動的に電話を受けることができます。

1 待ち受け画面で

2

イヤホン自動応答が設定され、「設定しました」と表示されます。

● イヤホン自動応答を解除するには

イヤホン自動応答設定時に （OFF）を押します。イヤホン自動応答が解除され、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。
- 「留守録音設定」が0～5秒に設定されている場合は、「留守録音設定」が優先されます。
- 本機能を「ON」に設定していても、着信時にイヤホンマイクを装着した場合は、自動応答しません。
- 本機能を「ON」に設定していても、「安全運転モード」が設定されている場合、イヤホンマイクによる通話はできません。
- 本機能を「ON」に設定していると、着信時にイヤホンマイクを抜いても自動応答します。
- 着信音は鳴動先の設定に依存します。
- スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチで電話を受けたり切ったりできます。

イヤホン装着時に電話を受ける

イヤホンマイクが完全に接続されているのを確認してください。

1 着信音が鳴る

● 着信時にイヤホンマイクを接続したときには

イヤホン自動応答が「ON」でも、イヤホンマイクで電話を受けることができません。本電話機のマイクとレシーバで通話してください。「イヤホン自動応答を設定する」(※7-36ページ)

2 を押して通話

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を受けることができます。

● 本電話機で通話中にイヤホンマイクを装着したときには

イヤホンマイクで通話を継続できます。

● 通話中にイヤホンマイクを抜いたときには

本電話機のマイクとレシーバで通話してください。

イヤホンマイクを接続して通話中に、「ハンズフリー通話」または「スピーカ受話」を設定したときは、イヤホンマイクを抜いても設定した通話モードで通話を継続できます。「手に持たずに通話する(ハンズフリー通話/スピーカ受話)」(※2-10ページ)

3 通話が終わったら

スイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホンマイクのスイッチでも電話を切ることができます。

お知らせ

- 着信時にイヤホンマイクを抜いたときは、イヤホン自動応答が「ON」であれば自動応答します。
- 着信時にイヤホンマイクが接続されていないときには、イヤホン自動応答が「ON」でもイヤホンマイクで電話を受けることができません。「イヤホン自動応答を設定する」(※7-36ページ)
- 安全運転モードに設定されているときは、イヤホンマイクを接続していても通話できません。「安全運転モードを設定する」(※2-44ページ)
- スイッチ付イヤホンマイク使用時に  で通話を保留にしているときには、イヤホンマイクのスイッチを押すと通話が切れます。

データフォルダを活用する

データフォルダについて

インターネットやメールで入手した画像データ、録音した音声データなど、本電話機上のデータは「データフォルダ」と呼ばれる保管場所に置かれます。画像データを壁紙に設定したり録音データを再生したりといった、データに関する各種の操作はデータフォルダ上で行います。

フォルダ構成

データフォルダのフォルダ構成は次の表のとおりです。データの種類によりどのフォルダに保存されるかが決まっています。なお、一部のフォルダは、さらにサブフォルダに分かれています。

フォルダ名/ サブフォルダ名		内容
全データ表示		本体の全データを表示します。
画像		画像データ
サウンド		録音データ以外の音データ
録音	全データ表示	「録音」フォルダ内の全データを表示します。
	ICレコーダ	ICレコーダのデータ
	留守録音	留守録音のデータ
	通話録音	通話録音のデータ
その他		メモ帳のデータなど専用フォルダのないデータ
シークレット		データを暗号化し保存するフォルダ
ユーザ データ	全データ 表示	「ユーザデータ」フォルダ内の全データを表示します。
	フォルダ 1～フォルダ 10	自由に使用できるフォルダ。お買い上げ時は 10 個のサブフォルダが用意されています。「フォルダを管理する」(☞ 7-51 ページ)

お知らせ

- 本体（本電話機）にはデータとフォルダを合計 1000 件まで保存することができます。保存できる容量は、データフォルダ、Java アプリケーションと Web 関連との合計で 8192K バイトまでです。

データのアイコン

データフォルダのデータのアイコンは、データの種類や状態を表します。画面上は表示されませんが、データ名の後ろには拡張子と呼ばれる3文字または4文字の文字列が付いており、これに基づいてデータの種類が判別され、表示するアイコンが決められます。

アイコン	データの種類 (拡張子)
	ビットマップ画像データ (.bmp)
	JPEG 画像データ (.jpeg, .jpg)
	PNG 画像データ (.png)
	GIF 画像データ (.gif)
	フィールドサウンドデータ (.dxx)
	MIDI データ (.midi, .mid)
	未再生の I Cレコーダデータ (.3g2)
	再生済みの I Cレコーダデータ (.3g2)
	未再生の留守録音データ (.3g2)
	再生済みの留守録音データ (.3g2)
	未再生の通話録音データ (.3g2)
	再生済みの通話録音データ (.3g2)
	その他の録音データ (.3g2)
	テキストデータ (.txt)
	LZH 形式圧縮データ (.lzh)
	ZIP 形式圧縮データ (.zip)
	Java アプリケーション (.jar)
	Java アプリケーション (.jad)
	Java アプリケーション (.url)
	HTML データ (.htm, .html)
	本電話機で使用できないデータ

データフォルダを表示する

1 待ち受け画面で  

データフォルダが表示されます。各フォルダの右側には、そのフォルダ内のデータ件数が表示されます。また、画面の下端には、現在表示しているデータフォルダの空き容量が表示されます。

2 でフォルダを選択

フォルダ内のデータ一覧が表示されます。データは  で選択することができ、選択しているデータのサイズが画面の上端に表示されます。

● サブフォルダの中を表示するには

フォルダ内にサブフォルダがある場合は、手順2によりサブフォルダの一覧が表示されます。 でサブフォルダを選択して  を押し、サブフォルダの内容が表示されます。

● 「シークレット」フォルダを表示するには
「シークレット」フォルダを表示するには、暗証番号認証が必要です。「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

フォルダ内の表示形式について

データ一覧の表示形式には、データ名が表示される「一覧表示」と、データがタイル状に配置される「サムネイル表示」とがあります。サムネイル表示では、画像データは画像の内容が表示されるので、データを開かずに内容を確認することができます。

表示形式	一覧表示	サムネイル表示
カーソルの移動		
お買い上げ時のフォルダの表示形式	右記以外のフォルダ	「画像」フォルダ

表示を切り替えるには、サブメニューから「表示方法」を選択します。「表示方法」のメニュー番号は選択中のデータの種類によって異なります。画像データを選択している場合の手順は次のようになります。

1 データー一覧の画面で  

画像データを活用する

画像データ (.bmp, .gif, .jpg, .jpeg, .png) の内容を確認したり画像データを壁紙に登録したりできます。

画像データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

-  : ビットマップ画像データ (.bmp)
-  : JPEG 画像データ (.jpeg, .jpg)
-  : PNG 画像データ (.png)
-  : GIF 画像データ (.gif)

画像データは、「画像」フォルダに保存されています。

画像データを表示する

1 待ち受け画面で

2 で「画像」フォルダを選択 ▶ で表示する画像データを選択

画像データが表示されます。幅が240dotを超えるか、高さが320dotを超える場合は、画面内に収まるよう画像データは縮小して表示されます。

● 前後の画像データを表示するには

 を押すと前の画像データ、 を押すと次の画像データが表示されます。

● 表示を拡大／縮小するには

 (ズーム) を押すとズームモードになり、表示倍率が  を押すごとに拡大、 を押すごとに縮小されます。表示倍率の範囲は50%～200%です。 (戻る) を押すと、通常表示に戻ります。

● 等倍で表示するには

 (等倍) を押すと、倍率100%で画面中央に画像データが表示されます。ただし、高さまたは幅が640dotを超える画像データは、等倍では表示できません。

● 表示位置を移動するには (ズームモード、等倍表示時)

 で画像データが上下左右に2dot移動します。そのまま約1秒以上押し続けると10dot移動します。さらに  を押し続けたままにしておくと、連続して画像データが移動します。

お知らせ

- 表示できる画像データのサイズは、縦1280dot、横960dotまでです。それを超えるサイズの画像データを表示しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

画像データを壁紙に設定する

データフォルダにあるお好みの画像データを壁紙(画面の背景)として設定することができます。

1 待ち受け画面で

2 で「画像」フォルダを選択 ▶ で壁紙にする画像データを選択 ▶ 1%

● 壁紙を解除するには

「壁紙を解除する」(※7-41ページ)を参照してください。

お知らせ

- 画像データを表示した状態で  (メニュー) を押し、 (壁紙設定) を押して壁紙に設定することもできます。
- 次の手順で壁紙を設定することもできます。
 -     を押す
 -  (データフォルダ) を押す
 -  で「画像」を選択し、 を押す
 -  で画像データを選択し、 を押す

固定画像を壁紙に設定する

本電話機にあらかじめ用意されている固定画像を壁紙として設定します。

1 待ち受け画面で 1%

2 ▶ で画像を選択

壁紙が設定され、「設定しました」と表示されます。

● 固定画像を名前の一覧に切り替えるには

 (一覧) を押すと、名前の一覧に切り替わります。 (サムネイル) を押すと、サムネイル表示に戻ります。

● 画像を画面いっぱいに表示して確認するには

 (表示) を押すと、固定画像が画面いっぱいに表示されます。その状態から  で前後の画像に切り替えることもできます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「Tile (Black)」に設定されています。
- 表示不可能な画像データを壁紙に設定すると、お買い上げ時の設定「Tile (Black)」となります。

Webページからダウンロードした画像を壁紙に設定する

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスして画像データをダウンロードし、壁紙として設定できます。

1 待ち受け画面で 1%

2

「ダウンロード後に設定変更を行ってください」と表示され、 (OK) を押すとWebページが表示されます。

Webページの画面に従って、画像データをダウンロードしてください。

「ファイルをダウンロードする」(※7-18ページ)

ダウンロードした画像データは、データフォルダに保存されます。

3 画像を選択する

 (データフォルダ) を押し、 で「画像」フォルダを選択し、 でダウンロードした画像データを選択し、 を押します。画像データが壁紙として設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 管理者ロックで「Web制限」がONに設定されている場合、 (公式サイトから探す) を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」([# 6-6ページ](#))
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除します よろしいですか?」と表示されます。 で「Yes」を選択し、 を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」([# 6-6ページ](#))
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、   を押して表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

壁紙を解除する

設定されている壁紙を解除し、壁紙のない状態にします。

- 待ち受け画面で    
- 

画像データを赤外線通信で送信する

画像データを赤外線通信で他の電話機に送信することができます。赤外線通信を行うには、受信側の操作も必要です。「赤外線通信を行う」([# 2-36ページ](#))

1 データフォルダで画像データを表示する

「画像データを表示する」([# 7-40ページ](#))

2     または 
選択した送信速度でデータを送信します。

3 赤外線ポートを相手の赤外線ポートに向けて

通常送信の場合は、相手が認識されるとデータが送信され、送信完了後に「画像データ送信完了」と表示されます。高速送信の場合は、相手を認識しなくてもデータが送信され、送信完了後に「画像データ送信完了」と表示されます。

お知らせ

- データ一覧から、画像データを選択して   を押ししても赤外線通信を行うことができます。
- 画像データでも、サイズが512Kバイトを超えるもの、コピーガードされているもの、「シークレット」フォルダ内のものは、赤外線送信を行うことはできません。
- 送信後は相手にデータが送られたことを確認してください。

便利な使いかた

7

データフォルダを活用する

サウンドデータを活用する

サウンドデータ (.dxx, .mid, .midi) を再生したり、着音音など各種機能に設定したりできます。

サウンドデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

-  : フィールドサウンドデータ (.dxx)
-  : MIDIデータ (.midi, .mid)

サウンドデータを聴く

データフォルダ内のサウンドデータを再生します。

- 待ち受け画面で  
-  で「サウンド」フォルダを選択
  で再生するサウンドデータを選択  

サウンドデータが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

● 停止するには

 () を押します。

● 一時停止するには

● () を押します。再度、● () を押すと、続きから再生されます。

● レシーバから音を聞くには

再生中に  (レシーバ) を押します。スピーカに切り替えるには  (スピーカ) を押します。

● 音量を調節するには

再生は音量3で開始されますが、再生中に  で0～5の範囲で調節することができます。

 : 再生音量レベルが上がります。

 : 再生音量レベル下がります。

お知らせ

- 再生中に、 で前の、 で次のサウンドデータを再生します。
- 再生画面の基本的な操作はICレコーダと共通です。ただし、早送り・巻き戻しはできません。また、データの年月日などの情報や再生の進行を表すインジケータも表示されません。「音声を再生する」(※7-27ページ)
- オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、サウンドデータを再生しようとする時、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して●を2回押すと、再生を開始します。
- 再生中にイヤホンを入ると、イヤホンから音を聞くことができます。
- .dxx形式のサウンドデータは64和音 feelsoundのものだけが再生できます。他の feelsoundは再生できません。
- 再生できるサウンドデータのサイズは350Kバイトまでです。

サウンドデータを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内のサウンドデータを、各種機能に設定できます。サウンドデータは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

1 待ち受け画面で ●

2  で「サウンド」フォルダを選択 ●   で設定するサウンドデータを選択  

3  ~ 、、 のいずれか

選択した機能に対してサウンドデータが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- サウンドデータの再生画面で  (メニュー) を押し、 (音設定) を選択して機能を設定することもできます。

録音データを活用する

録音データ (.3g2) を再生したり、着信音など各種機能に設定したりできます。「録音」フォルダは、「ICレコーダ」フォルダ、「留守録音」フォルダ、「通話録音」フォルダの3つに分かれていますが、保存されているデータの形式はどのフォルダも同じで、再生や着信音などへの設定も同じ操作で行うことができます。録音データはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

-  : 未再生のICレコーダデータ (.3g2)
-  : 再生済みのICレコーダデータ (.3g2)
-  : 未再生の留守録音データ (.3g2)
-  : 再生済みの留守録音データ (.3g2)
-  : 未再生の通話録音データ (.3g2)
-  : 再生済みの通話録音データ (.3g2)
-  : その他の録音データ (.3g2)

お知らせ

- 「シークレット」フォルダ内にある未再生の録音データを再生した場合は、再生済みのファイル名およびアイコンにはなりません。
- 「その他の録音データ」として再生できるのは、出力サンプリングレートが8kHzで、モノラルでAACエンコードされた3GPデータ (拡張子 .3g2) です。

録音データを聴く

「その他の録音データ」の再生方法を説明します。

「ICレコーダ」フォルダの録音データについては、「ICレコーダを利用する」(※7-27ページ)を参照してください。

「留守録音」フォルダの録音データについては、「留守録音を設定する」(※2-48ページ)を参照してください。

「通話録音」フォルダの録音データについては、「通話を録音する (通話録音)」(※2-8ページ)を参照してください。

1 待ち受け画面で ●

2 データフォルダで再生する録音データを選択 ● ●

録音データが再生されます。再生は、停止または一時停止するまで繰り返されます。

- 停止するには
 () を押します。
- 一時停止するには
 () を押します。再度、 () を押すと、続きから再生されます。
- スピーカから音を聞くには
 再生中に  (スピーカ) を押します。レシーバに切り替えるには  (レシーバ) を押します。
- 再生中の録音データを削除するには
 ・ICレコーダの場合：再生中に  (メニュー) を押し、 (一件削除) を押します。
 ・留守録音、通話録音の場合：再生中に  (削除) を押します。
 「削除しますか？」と表示されるので  で「Yes」を選択して  を押します。
- 音量を調節するには
 再生は音量3で開始されますが、再生中に  で0～5の範囲で調節することができます。
 : 再生音量レベルが上がります。
 : 再生音量レベル下がります。

お知らせ

- ・再生中に、 で前の、 で次の録音データを再生します。
- ・オートサイレントモードまたはマナーモードのときに、録音データを再生しようとする、再生を確認するメッセージが表示されます。この場合、「Yes」を選択して  を押すと、再生を開始します。
- ・再生中にイヤホンを挿入すると、イヤホンから音を聞くことができます。

録音データを各種機能に設定する

本電話機に内蔵されているデータフォルダ内の録音データを、各種機能に設定できます。録音データは、公衆着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、オフィス外線着信音、オフィス内線着信音、オフィス専用線着信音、保留音、目覚まし音、スケジュール音としても設定できます。いずれの場合も同じ手順で設定できます。

- 1 待ち受け画面で  ()
- 2  で「録音」フォルダを選択 
 で「ICレコーダ」、「留守録音」、「通話録音」いずれかを選択 
 で設定する録音データを選択 
 

- 3  ~ 、、 のいずれか
 選択した機能に対して録音データが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- ・録音データの再生画面で  (メニュー) を押し、 (音設定) を選択して機能を設定することもできます。

テキストデータを開く

テキストデータ (.txt) の内容を表示することができます。テキストデータはデータフォルダでは次のアイコンで表示されます。

 : テキストデータ (.txt)

- 1 待ち受け画面で  ()
- 2 開きたいテキストデータのあるフォルダを表示する
 「データフォルダを表示する」( 7-39ページ)
- 3  でテキストデータを選択 
 テキストデータの内容が表示されます。

- テキストに電話番号、メールアドレス、URLが含まれているときは
 テキストデータ中の電話番号、メールアドレス、URLは、 で順に選択していくことができます。これらを選択した状態で  を押すと、以下の機能を行うことができます。
 電話番号：選択されている電話番号に電話をかけることができます。
 メールアドレス：選択されているメールアドレスあてにEメールを作成して送信することができます。
 URL：選択されているURLのWebページに接続します。
- 前後のページを表示するには
 で前のページ、 で次のページが表示されます。

圧縮データを開く

LZH形式またはZIP形式で圧縮されたデータを展開し、圧縮前の状態に戻して別のデータとして保存します。圧縮されたデータも削除されずに残ります。

展開することができる圧縮データは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。

 : LZH形式圧縮データ (.lzh)

 : ZIP形式圧縮データ (.zip)

1 待ち受け画面で  

2 開きたい圧縮データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3  で「圧縮データ」を選択 

4  で「Yes」を選択 

展開が完了すると、「展開しました」と表示されます。展開されたデータは元データと同じフォルダに保存されます。

お知らせ

- 圧縮データの展開によって空き容量が不足する場合は、展開が中止されます。
- パスワードの設定された圧縮データは展開できません。
- コピーガードされた圧縮データは展開できません。

HTMLデータを開く

HTMLデータ (.htm, .html) の内容を表示することができます。HTMLデータは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。

 : HTMLデータ (.htm, .html)

1 待ち受け画面で  

2 開きたいHTMLデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3  でHTMLデータを選択 

ブラウザが起動し、HTMLデータの内容が表示されます。

お知らせ

- ブラウザの使用法については、「ブラウザの各種機能を設定する」(※4-20ページ)を参照してください。

Javaアプリケーションを活用する

Javaアプリケーションをインストールする

データフォルダにダウンロードしたJavaアプリケーションをインストールします。

Javaアプリケーションは、データフォルダでは次のアイコンで表示されます。インストールするときは  を開いてください。

 : Javaアプリケーション (.jar)

 : Javaアプリケーション (.jad)

 : Javaアプリケーション (.url)

1 待ち受け画面で  

2 開きたいJavaアプリケーションのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3  でJavaアプリケーション () を選択 

4  で「Yes」を選択 

インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されます。

お知らせ

- インストールしたJavaアプリケーションを実行する方法については、「Javaアプリケーションを実行する」(※7-45ページ)を参照してください。
- インストールしたJavaアプリケーションは、本電話機の電源を切っても消えません。
- Javaアプリケーションのインストール時にはjvinstall.txtというファイルが生成され、インストール後に自動的に削除されます。インストールが失敗した場合にはjvinstall.txtが残ることがありますが、削除してもかまいません。
- ブラウザでWebサーバ上のJavaアプリケーション (.jad) をインストールすることもできます。Javaアプリケーションへのリンクを選択して  を押すと、「インストールしますか?」と表示されるので、「Yes」を選択して  を押します。これによりJavaアプリケーションがインストールされます。

WebページからJavaアプリケーションをダウンロードする

コンテンツダイレクトアクセス機能によって、Webページに直接アクセスしてJavaアプリケーションをダウンロードできます。

1 待ち受け画面で

2 Webページの画面に従って、Javaアプリケーションをダウンロードする

「Javaアプリケーションをダウンロードする」
([# 4-19ページ](#))

Javaアプリケーションのダウンロード、保存、インストールが行われます。

お知らせ

- 管理者ロックで「Web制限」がONに設定されている場合、 (公式サイトから探す) を選択すると「Web制限設定中です」と表示され、Webページを表示できません。
- 機能ロックで「メール/Web/Java™」がONに設定されている場合、待ち受け画面で   を選択すると、暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」([# 6-6ページ](#))
- 機能ロックで「データフォルダ」がONに設定されている場合、待ち受け画面で   を選択すると、「データフォルダの機能ロックを一時的に解除しますよろしいですか?」と表示されます。 で「Yes」を選択し、 を押します。次の画面で暗証番号による認証が必要になります。「暗証番号で認証を行う」([# 6-6ページ](#))
- オフィスモードやグループモードで使用している場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- オンラインサインアップが未設定の場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、オンラインサインアップの画面が表示されます。先にオンラインサインアップを設定してから、操作をやり直してください。
- ダイヤルアップの接続が「CLUB AIR-EDGE」ではない場合、 (公式サイトから探す) を選択すると、「ネットワークが利用できません。」と表示され、Webページを表示できません。
- コンテンツダイレクトアクセス機能は、  を押し表示モードを「ケータイモード」に設定してから使用してください。

Javaアプリケーションを実行する

インストールされているJavaアプリケーションを実行します。

1 待ち受け画面で

Java™管理画面に、インストールされているアプリケーションとフォルダが表示されます。

 : フォルダ

 : Javaアプリケーション (アプリケーション独自のアイコンで表示されるものもあります)

● フォルダを開くには

 でフォルダを選択し、 を押し、フォルダが開いて内容が表示されます。

2 で実行するJavaアプリケーションを選択

お知らせ

- お買い上げ時には、プリセットアプリ3件があらかじめインストールされています。

Javaアプリケーションを管理する

■フォルダを作成する

新しくフォルダを作成します。

1 待ち受け画面で

2 フォルダ名を入力

フォルダが作成され、「作成しました」と表示されます。

お知らせ

- Java™管理画面に表示されるフォルダは、Java™の動作環境内だけで使用する仮想的なフォルダです。データフォルダに表示されるフォルダとは異なります。
- 作成したフォルダ内にさらにフォルダを作成することはできません。

■フォルダ名を変更する

Java™管理画面のフォルダ名を変更します。

1 待ち受け画面で

2 でフォルダを選択 フォルダ名を編集

フォルダ名が変更され、「変更しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションを移動する

Javaアプリケーションを別のフォルダに移動します。

1 待ち受け画面で

2 で移動するJavaアプリケーションを選択 フォルダを選択

Javaアプリケーションが移動し、「移動しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションを更新する

インストールされているJavaアプリケーションをインターネット上の最新のバージョンに更新します。

- 1 待ち受け画面で     
- 2  で更新するJavaアプリケーションを選択 ▶  
- 3  で「Yes」を選択 

インターネット上の最新バージョンが確認され、インストールを確認するメッセージが表示されます。

- 4  で「Yes」を選択 
更新が完了すると、「アップデートを完了しました。アプリケーションを起動しますか?」と表示されます。

■Javaアプリケーションを一件削除する

インストールされているJavaアプリケーションを削除します。

- 1 待ち受け画面で     
- 2  で削除するJavaアプリケーションを選択 ▶  
- 3  で「Yes」を選択 
Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順3の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ  で「Yes」を選択し、 を押して処理を続行してください。

■フォルダを一件削除する

Java™管理画面に表示されるフォルダを一件削除します。フォルダ内にJavaアプリケーションがある場合は削除できないので、あらかじめそのフォルダ内のJavaアプリケーションを削除しておいてください。「Javaアプリケーションを一件削除する」(※同じページ内です。)

- 1 待ち受け画面で     
- 2  で削除するフォルダを選択 ▶  
- 3  で「Yes」を選択 
フォルダが削除され、「削除しました」と表示されます。

■Javaアプリケーションとフォルダを全件削除する

本電話機にインストールされているJavaアプリケーションとJava™管理画面に表示されるフォルダをすべて削除します。

- 1 待ち受け画面で     
- 2  ▶ Javaアプリケーションを選択しているときは 、フォルダを選択しているときは  ▶ 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

- 3  で「Yes」を選択 
Javaアプリケーションが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、手順3の後にさらに確認のメッセージが表示される場合もあります。削除してよければ  で「Yes」を選択し、 を押して処理を続行してください。

■Javaアプリケーションを並べ替える

現在表示しているフォルダ内のJavaアプリケーションやフォルダの表示順序を変更します。

- 1 待ち受け画面で     
- 2  でいずれかのJavaアプリケーションを選択 ▶  
- 3  で並べ替え方法を選択 

お知らせ

- フォルダの順序が変わるのは、「名前-昇順」と「名前-降順」だけです。なお、フォルダは常にJavaアプリケーションよりも上に表示されます。

■Javaアプリケーションの詳細情報を表示する

Javaアプリケーションのバージョンやサイズなどの情報を表示します。

- 1 待ち受け画面で     
- 2  でJavaアプリケーションを選択 ▶  

詳細情報画面にJavaアプリケーションの情報が表示されます。

■ Javaアプリケーションのネットワーク接続について設定する

Javaアプリケーションからのネットワーク接続に対する許可のしかたを設定します。

1 待ち受け画面で    

2  で設定する Java アプリケーションを選択 ▶  

ネットワーク接続画面が表示されます。Javaアプリケーションからのネットワーク接続の許可をいつ確認するかを選択します。
1度だけ確認：最初の起動時に一度だけ確認します。

起動ごとに確認：起動することに確認します。
使用ごとに確認：使用することに確認します。
許可しない：ネットワーク接続を許可しません。

3  で許可方法を選択  ▶ 

ネットワーク接続の許可が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- Javaアプリケーションの種類により、ネットワーク接続の設定ができない場合もあります。

■ システム情報を表示する

Javaシステムの使用しているメモリ容量とメモリの空き容量を表示します。

1 待ち受け画面で    

2  ▶ Javaアプリケーションを選択しているときは 、フォルダを選択しているときは 

システム情報画面に、使用中のメモリ容量 (XXXX Byte 使用) とメモリの空き容量 (XXXX Byte フリー) が表示されます。

■ Javaアプリケーションをショートカット登録する

インストールされているJavaアプリケーションをマイメニューやカスタムボタンに登録し、簡単に実行できるようにすることができます。

1 待ち受け画面で    

2  で登録する Java アプリケーションを選択 ▶  

3  または 

以降、それぞれの登録操作を行います。
登録されると、「登録しました」と表示されます。

●  (マイメニュー) を押すと

選択したJavaアプリケーションをマイメニューに登録します。「マイメニューに登録する」(※7-50ページ)

●  (カスタムボタン) を押すと

選択したJavaアプリケーションをカスタムボタンに登録します。「カスタムメニューに登録する」(※7-16ページ)

データを管理する

データを並べ替える

フォルダ内のデータの順序を、作成日時順、更新日時順、ファイルサイズ順、ファイル名順、ファイル種別順で並べ替えることができます。

1 待ち受け画面で 

2 データを並べ替えるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3  ▶  で「ソート」を選択 
▶  で並び替える方法を選択 

選択した順でデータが並び替えられます。
この設定の結果は他のフォルダにも反映されません。

各設定の意味は次のとおりです。

- 作成日時順 (新→古)：作成日時の新しい順
- 作成日時順 (古→新)：作成日時の古い順
- 更新日時順 (新→古)：更新日時の新しい順
- 更新日時順 (古→新)：更新日時の古い順
- ファイルサイズ順 (小→大)：サイズの小さい順
- ファイルサイズ順 (大→小)：サイズの大きい順
- ファイル名順 (昇順)：ファイル名の文字コードの小さい順
- ファイル名順 (降順)：ファイル名の文字コードの大きい順
- ファイル種別順：ファイルの種別順

● **ダイヤルボタンで選択するには**

サブメニュー上の「ソート」やソート一覧画面では、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

お知らせ

- お買い上げ時には、「作成日時順 (新→古)」に設定されています。

データの詳細情報を表示する

データについての詳しい情報を表示します。
表示されるのは次の情報です。

情報	説明	データの種類の		
		画像データ	サウンドデータ	その他のデータ
ファイル名	ファイル名 (拡張子含む)	○	○	○
タイトル名	サウンドデータのタイトル	×	○	×
画像サイズ	画像の幅×画像の高さ	○	×	×
ファイルサイズ	データのサイズ (KB)	○	○	○
作成日時	データの作成された日時	○	○	○
更新日時	データに変更が加えられた日時	○	○	○
コピーガード	コピーガードの有無	○	○	○
設定	壁紙や着信音などの設定先。どの機能にも設定されていないときは「設定なし」と表示されます。	○	○	○
場所	データが実際にある場所	○	○	○

○：表示あり
×：表示なし

1 待ち受け画面で

2 詳細情報を表示するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3 で詳細情報を表示するデータを選択 で「詳細情報」を選択

- **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「詳細情報」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。
- **詳細情報の続きを表示するには**
 で詳細情報の続きが表示され、 で前に戻ります。

お知らせ

- ICレコーダ、留守録音、通話録音のデータには、ファイル名の前に次次の拡張子がつきます。

ICレコーダのデータ : `IU_` または `IA_`
留守録音のデータ : `MU_` または `MA_`
通話録音のデータ : `PU_` または `PA_`
「U」は未再生状態、「A」は再生済みであることを示します。

データを移動する

データをフォルダ間で移動します。

1 待ち受け画面で

2 移動元データのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3 で移動するデータを選択 で「移動」を選択

- **ダイヤルボタンで選択するには**
サブメニュー上の「移動」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

4 ~ のいずれか

● (1件移動) を押すと

選択したデータ1件だけを移動します。

● (選択移動) を押すと

データ選択画面が表示されるので、 で移動するデータを選択して  (チェック) を押します。データの先頭に「」が付きます。チェックを外すときは、再度  (チェック) を押します。 (メニュー) を押し、 (全件選択) や  (全件解除) を押し、全件まとめて選択したり、解除したりできます。

移動するデータの選択を終えたら  (移動) を押します。

拡張子を変更する

データの拡張子を変更します。拡張子を変更できるのは、「その他」フォルダのデータだけです。

1 待ち受け画面で

2 「その他」フォルダを開く

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3 で名前を変更するデータを選択 ▶ で「拡張子編集」を選択 ▶ 拡張子を編集

「ファイルが開けなくなる可能性があります。拡張子を変更しますか?」と表示されます。

● ダイヤルボタンで選択するには

サブメニュー上の「拡張子編集」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

● 文字の入力方法について

「文字を入力する」(※2-13ページ)

4 で「Yes」を選択

拡張子の変更され、「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- 入力できる文字数は、半角1～4文字までです。
- 拡張子に使用できるのは、半角英字(小文字)、半角数字、半角記号です。
- 拡張子に「:」、¥/ : * ? < > |。「」、. °。」および半角スペースを使用することはできません。

データをEメールに添付する

データをEメールに添付して送信します。添付できるデータのサイズは最大350Kバイトです。JPEG画像データについては添付できるサイズに自動的に縮小することもできます。

1 待ち受け画面で

2 添付するデータのあるフォルダを表示する

「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)

3 で添付するデータを選択 ▶ ▶ で「Eメール添付」を選択

● ダイヤルボタンで選択するには

サブメニュー上の「Eメール添付」は、ダイヤルボタンを押して選択することもできます。

● JPEG画像データの場合は

SXGA (1280 × 960)、VGA (640 × 480)、QVGA (320 × 240) のJPEG画像データの場合は、縮小サイズ指定のメニューが表示されます。

 (サイズ変更なし) を押しと、データは縮小されません。ただし、データサイズが350Kバイトを超える場合は、 (サイズ変更なし) は選択できません。

 (VGAに縮小) を押しと、データはVGA (640 × 480) サイズに縮小されます。

 (QVGAに縮小) を押しと、データはQVGA (320 × 240) サイズに縮小されます。

 (QQVGAに縮小) を押しと、データはQQVGA (160 × 120) サイズに縮小されます。

縮小されるのは添付用のコピーで、元の画像データは縮小されません。

4 各項目を入力してEメールを送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」(※3-7ページ)

お知らせ

- 縮小後のデータサイズが350Kバイトを超える場合は、さらに「サイズオーバーです。縮小保存し添付しますか?」と表示されます。 で「Yes」を選択して  を押し、、 で縮小サイズを選択してください。再縮小によっても350Kバイト以下にならない場合は、画像データはメールに添付されません。

データ保存時にデータを整理する

ダウンロードによる画像データを保存する際に「空き容量が足りません。整理しますか?」と表示されることがあります。この場合は、不要なデータを削除して必要な空き容量を確保することによって操作を続けることができます。

1 「空き容量が足りません。整理しますか?」と表示される

2 で「Yes」を選択 ▶ でフォルダを選択 ▶ で削除するデータを選択

3 で「Yes」を選択

データが削除され、「削除しました」と表示されます。必要な空き容量が確保されれば、元の操作の続きに戻ります。まだ空き容量が不足している場合は、データ一覧の画面に戻るので、空き容量が確保できるまで続けます。

フォルダを管理する

フォルダを作成する

「ユーザーデータ」フォルダの中に新しくフォルダを作成します。

- 1 待ち受け画面で
- 2 「ユーザーデータ」フォルダを表示する
「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)
- 3 ▶ フォルダ名を入力

フォルダ一覧の最後に新しいフォルダが追加されます。

- 文字の入力方法について
「文字を入力する」(※2-13ページ)

お知らせ

- フォルダ名の先頭に「.」と「&」と「\$」を使用することはできません。
- フォルダ名の中に「:」,「¥」,「/」,「*」,「?」,「<」,「>」,「|」を使用することはできません。
- フォルダ名の長さは半角32文字(全角16文字)までです。
- 「ユーザーデータ」フォルダの中に合計100個までフォルダを作成することができます。

フォルダを削除する

「ユーザーデータ」フォルダに作成したフォルダを削除します。フォルダを削除すると、そのフォルダ内のフォルダやデータもすべて削除されます。

- 1 待ち受け画面で
- 2 「ユーザーデータ」フォルダを表示する
「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)
- 3 ▶
 ▶ 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

- 4 で「Yes」を選択
- フォルダが削除され、「削除しました」と表示されます。

お知らせ

- 「ユーザーデータ」フォルダのフォルダ数が10件しか残っていない場合は、フォルダは削除されずフォルダ内のデータだけが削除されます。
- 「ユーザーデータ」フォルダ以外のフォルダに上記の操作を行うと、フォルダは削除されずフォルダ内のデータだけが削除されます。

フォルダ名を変更する

「ユーザーデータ」フォルダにあるフォルダの名前を変更します。それ以外のフォルダの名前は変更できません。

- 1 待ち受け画面で
- 2 「ユーザーデータ」フォルダを表示する
「データフォルダを表示する」(※7-39ページ)
- 3 ▶
 ▶ フォルダ名を編集

フォルダ名が変更され、「変更しました」と表示されます。

- 文字の入力方法について
「文字を入力する」(※2-13ページ)

お知らせ

- フォルダ名の先頭に「.」と「\$」を使用することはできません。
- フォルダ名の中に「:」,「¥」,「/」,「*」,「?」,「<」,「>」,「|」を使用することはできません。
- フォルダ名の長さは半角32文字(全角16文字)までです。

メモリの使用状況を見る

メモリの使用状況を帯グラフで表示します。

- 1 待ち受け画面で
- 本体メモリの使用状況をKバイト単位で表示されます。
データフォルダ：データフォルダで使用している容量です。
Java™：Java™が使用している容量です。
Web：ブラウザのページメモで使用している容量です。
空き容量：使用されていない容量です。

お知らせ

- データフォルダを表示した状態で (メニュー) を押し、 (メモリ使用状況) を押し、メモリ使用状況を表示することもできます。ただし、この場合は、「全削除」ボタンは表示されません。
- メールBOXの使用状況については、「メールBOXの使用状況を見る」(※3-22ページ)を参照してください。

メモリの内容をすべて削除する（全削除）

メモリの全削除を行うと、データフォルダ内のデータはすべて削除され、フォルダ構成もお買い上げ時の状態に戻ります。Java™とページメモのデータも削除されます。

1 待ち受け画面で 1%

メモリ使用状況が表示されます。

2 ▶ 暗証番号認証を行う

「暗証番号で認証を行う」(※6-6ページ)

3 で「Yes」を選択

データが削除され、「削除しました」と表示されます。

国際ローミングを利用する (国際ローミング)

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイ、ベトナム、中国でも利用できるようになります。サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせせ窓口」(☎ A-10 ページ)

● 台湾で使用するには

- 本電話機のローミングモードを「台湾」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」(☎ 同ページ内です。)
- ローミング用の電話番号を本電話機に登録しておくことができます。「台湾のローミング電話番号を登録する」(☎ 同ページ内です。)

● タイまたはベトナム、中国で使用するには

- ローミング情報を登録します。「タイ/ベトナム/中国のローミング情報を登録する」(☎ 7-54 ページ)
- 本電話機のローミングモードを「タイ」または「ベトナム」、「中国」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」(☎ 同ページ内です。)

ローミングモードに切り替える

台湾、タイ、ベトナムまたは中国で本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。

タイ、ベトナムまたは中国に切り替えるには、あらかじめローミング情報を登録しておく必要があります。「タイ/ベトナム/中国のローミング情報を登録する」(☎ 7-54 ページ)

1 待ち受け画面で

2 ▶ ~ のいずれか

-  (日本/ウィルコム) を押すと
接続先を日本へ切り替えます。
-  (台湾/大衆電信 (FITEL)) を押すと
接続先を台湾へ切り替えます。
-  (タイ/true) を押すと
接続先をタイへ切り替えます。
-  (ベトナム/VNPT) を押すと
接続先をベトナムへ切り替えます。
-  (中国/中国 PHS) を押すと
接続先を中国へ切り替えます。

3 で「Yes」を選択

ローミングモードに切り替わり、「設定しました」と表示されます。

ローミングモードでは、待ち受け画面に「」が点灯します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「日本/ウィルコム」に設定されています。
- ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
 - ・ 位置情報機能
 - ・ 安全運転モード(ネットワーク応答、ネットワーク応答+留守電)
 - ・ 発信者番号付加機能(184、186)
 - ・ 非通知ガード
 - ・ 分計発信
 - ・ ライトメール
 - ・ 完全消去+初期化
- ローミングモードを切り替えると、本電話機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。また、切り替えの際、60秒以内の時刻の誤差が生じます。ひんばんに切り替えを行うと誤差が大きくなりますのでご注意ください。
- デュアルモードの場合はローミングモードの切り替えはできません。

台湾のローミング電話番号を登録する

台湾で使用する場合は、ローミング用の電話番号を忘れないように本電話機に登録します。登録したローミング用の電話番号は、待ち受け画面で   を押すと示されます。「プロフィールを表示する」(☎ 7-5 ページ)

ローミング用の電話番号をお客様が確認するための機能です。本電話機にローミング用の番号を書き込む操作とは異なります。台湾、タイ、ベトナムまたは中国で本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。

1 待ち受け画面で

2 ▶ ローミング電話番号を入力

ローミング電話番号が登録され、「登録しました」と表示されます。

- **すでに登録済みのローミング電話番号を修正するには**

 を押して登録されている電話番号を削除し、再度入力します。

お知らせ

- ローミング用の電話番号は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際に、ウィルコムよりご案内いたします。

タイ／ベトナム／中国のローミング情報を登録する

タイ、ベトナムまたは中国で使用する場合は、以下のローミング情報を登録します。

- 登録日時
- ローミング先PS-ID
- PS番号
- ローミング電話番号
- 暗証番号

自動でローミング情報を登録する

ウィルコムにタイ、ベトナムまたは中国でのローミングサービスをお申し込みになると、ウィルコムからローミング登録用ライトメールが送信されます。ローミング登録用ライトメールを受信すると、ローミング情報は自動的に本電話機に登録されます。

ローミング登録用ライトメールは、自動的に保護設定になります。「メールを保護する」(※3-19ページ)

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、手動でローミング情報を登録することもできます。

お知らせ

- ウィルコムからのローミング登録用ライトメールは、ローミング終了まで大切に保管してください。
- 受信したライトメールの保護件数は10件までです。すでにライトメールの保護件数が10件ある場合、ローミング登録用ライトメールは保護設定となりません。
- ローミング情報登録画面で、ローミング情報の内容を確認することもできます。

手動でローミング情報を登録する

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、以下の手順でローミング情報を登録します。

- 1 待ち受け画面で
- 2 ~ のいずれか

3 ~ を順に押して各情報を入力

ローミング情報が登録され、「登録しました」と表示されます。

- (ローミング先PS-ID) を押すと
ローミング先PS-IDを入力します。半角で9文字まで入力できます。
- (PS番号) を押すと
PS番号を入力します。半角で13文字まで入力できます。
- (ローミング電話番号) を押すと
ローミング電話番号を入力します。半角で32文字まで入力できます。
- (暗証番号) を押すと
暗証番号を入力します。半角で2文字まで入力できます。

お知らせ

- ローミング情報は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内いたします。
- ローミング電話番号は、待ち受け画面で を押して確認することができます。「プロフィールを表示する」(※7-5ページ)
- ローミング情報を消去した場合は、タイ／ベトナム／中国でのご使用ができなくなりますのでご注意ください。

登録したローミング情報を削除する

登録した台湾、タイ、ベトナムまたは中国のローミング情報を削除します。

- 1 待ち受け画面で
- 2 ~ のいずれかにフォーカスを合わせ
- 3 (削除) を押す
- 4 で「Yes」を選択
ローミング情報が削除され、「削除しました」と表示されます。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードでのご利用時に日本など、他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本電話機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

ここでは日本に電話をかける場合の例で説明をします。

1 待ち受け画面で を押す

選択した国や地域で割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2 相手の電話番号から先頭の「0」を除いた番号を入力

例えば、相手の番号が「070-1234 -XXXX」の場合、「701234XXXX」と入力します。

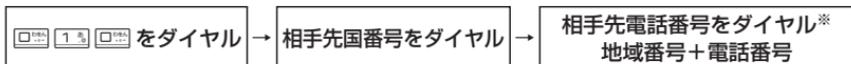
お知らせ

- 待ち受け画面で、相手の国番号と電話番号（先頭の0を除く）を入力してから、先頭に国際プリフィックス番号を付けることもできます。電話番号の入力後、（メニュー）を押して、（国際プリフィックス）を押します。

国際電話をかける（ウィルコム国際電話サービス）

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。

相手先電話番号の前に、010と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。



※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

例) ニューヨークの123-4567へかけるとき

010	→	1	→	212	→	123-4567
国際電話である ことを示す番号		アメリカの 国番号		ニューヨーク の地域番号		相手の 電話番号

お知らせ

- 国際電話の通話料は、30秒単位での課金となります。
- 国際電話料金（非課税）は、毎月ウィルコムご利用料金と合算してのご請求となります。
- 通話相手先の国や地域によっては、現地事業者の設備の都合により接続できない場合があります。
- 国際電話のご利用にあたっては、毎月のご利用限度額10,000円（非課税）が設定されています。超過した場合はライトメールでお知らせいたします。ご利用限度額の設定解除などを希望される場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ウィルコムサービスの利用する

料金分計サービスを利用する (有料)

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を2箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方(主計先)へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方(分計先)へ請求されます。料金分計サービスを使うには、あらかじめお申し込みが必要です。

料金分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。「待受モードを切り替える(待受モード設定)」(P.8-2ページ)

なお、ライトメールや、フレックスチェンジ方式・パケット方式でのデータ通信、CLUB AIR-EDGEへの接続および国際ローミングモードでのご利用は、分計サービスの対象外です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(P.A-10ページ)

分計サービスを使って電話をかける

1 相手の電話番号を入力 ▶  画面上部に「分計」と表示されます。

2 ● または  相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

お知らせ

- 先に  を押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード(公衆+オフィス)に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは、分計発信ではなく通常の発信になります。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度  を押してください。分計発信の設定が解除され、画面から「分計」という表示が消えます。
- 「184」または「186」を付けて、分計発信することもできます。「通話ごとに発信者番号の通知/非通知を設定する」(P.2-3ページ)

発信履歴/着信履歴/メモから料金分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面から、 で発信履歴画面または着信履歴画面を表示する

2 必要に応じて、 で発信履歴画面/着信履歴画面/メモ画面を切り替える

3  でかけたい電話番号を選択  「記録されている電話番号にかける(発信履歴/着信履歴/番号メモ)」(P.2-3ページ)

4  画面上部に「分計」と表示されます。

5 ● または  相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

電話帳から分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面で    電話帳の一覧画面が表示されます。 でも、同じ操作ができます。

2 電話をかける相手を選択  「電話帳を使って電話をかける」(P.2-3ページ)

3  画面上部に「分計」と表示されます。

4 ● または  相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

留守番電話サービスを利用する (有料)

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。

留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(P.A-10ページ)

■留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「留守」と留守録がある旨表示されます。リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信ランプが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「着信ランプを設定する」(※7-10ページ)

お知らせ

- 留守番電話サービスはライトメールなどの文字メッセージを受けることはできません。
- 留守番電話サービスは、着信転送サービスと同時にご利用になれません。「着信転送サービスを利用する」(※同じページ内です。)

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

1 待ち受け画面で

2

留守番電話センターにつながります。音声ガイドンスに従って操作してください。メッセージがすべて再生、または消去されると、待ち受け画面の「留守」の表示が消えます。

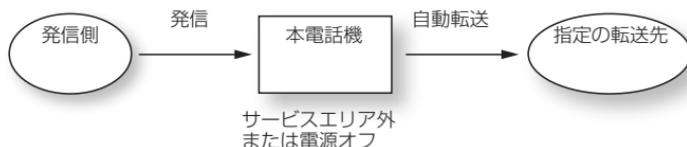
お知らせ

- 待受画面に「センター留守録あり」のポップアップが表示されているときに●を押すか、または「*9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- ブッシュ音の出せる一般電話や公衆電話から「0077-780-9311」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- 留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)

便利な使いかた

着信転送サービスを利用する

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、一般電話、公衆電話などから行います。



着信転送サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)

お知らせ

- 日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- 転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

7

ウィルコムのサービスを利用する

高速化サービスを利用する (高速化サービス追加設定) (有料)

「高速化サービス」とは、ウィルコム経由の packets 通信時に、通信プロトコルや画像ファイルの最適化を行い、ブラウジングの体感通信速度を高速化させるサービスです。高速化サービスをお申し込みいただいている場合は、最適化後の画質と速度のバランスをお好みに応じて設定できます。

高速化サービスは、オンラインサインアップ画面から設定してください。「オンラインサインアップを行う」(※ 3-6 ページ)

高速化サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(※ A-10 ページ)

1 待ち受け画面で または ▶

● Webページの表示中にオプションメニューを表示するには

 (メニュー) を押して、 (オプション) を押します。

2 ▶ で高速化のレベルを選択

次にデータをダウンロードするときから高速化サービスが有効になります。

● 「OFF」を選択すると

ブラウザで高速化サービスを利用しない場合は、こちらを選択します。

なお、高速化サービスを利用している場合、設定を「OFF」にしても高速化サービスは解約されません。高速化サービスの解約は、オンラインサインアップ画面から設定してください。「オンラインサインアップを行う」(※ 3-6 ページ)

画質は選択した番号により、下記ようになります。

- 「1:画質重視」
- 「2」
- 「3」
- 「4:速度重視」



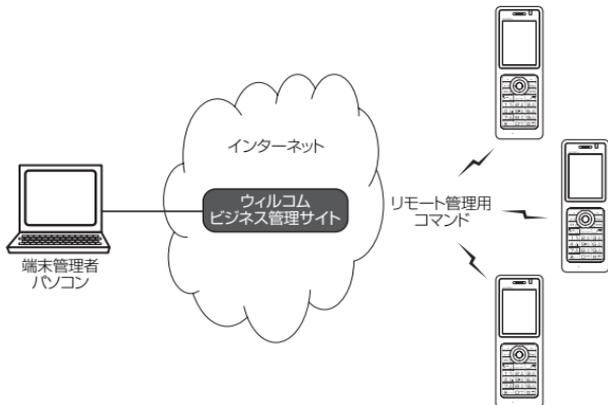
お知らせ

- お買い上げ時には、「3」に設定されています。
- 高速化の効果は、Web ページの内容や通信状況などにより異なることがあります。
- 「1:画質重視」～「4:速度重視」を選択した場合は、画像の表示設定が「オンデマンド表示」であっても表示領域外の画像も読み込まれます。「画像の表示方法を設定する(画像)」(※ 4-20 ページ)

ビジネス安心サービスを利用する（有料）

法人でまとめてWX330Jシリーズを利用するときなどの端末管理者は、本電話機の各種機能の設定、ソフトウェア更新、電話帳のダウンロードなどの操作をリモートで管理することができます。端末管理者パソコンから、インターネットを経由してウィルコムビジネス管理サイトにアクセスし、リモート管理用のコマンドを送信することにより、本電話機をリモート管理することができます。本電話機がリモート管理用のコマンドを受信すると、画面上に「設定更新中」と表示され、設定が終了すると「設定完了」と表示されます。

ビジネス安心サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（※A-10ページ）



端末管理者から出されるリモート管理用のコマンドは次のとおりです。

- ソフトウェア更新 : ソフトウェアを更新します。「ソフトウェアを更新する」(※7-62ページ)
- 警告音鳴動 : 最大音量の警告音を連続して鳴らします。停止させる場合は  を押します。
- 接続制限 : 電話の発信やメール、インターネットなどへの接続を制限します。
- 完全消去+初期化 : 完全消去+初期化を実行します。「設定をリセットする(リセット)」(※6-23ページ)
- オンラインサインアップ削除 : オンラインサインアップ情報を削除します。「オンラインサインアップ情報を削除する」(※3-6ページ)
- オール設定リセット : オール設定リセットを実行します。「設定をリセットする(リセット)」(※6-23ページ)
- 電話帳ダウンロード : 端末管理者が許可した電話帳データをダウンロードします。

リモート管理項目一覧

管理項目	設定内容
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新を起動して、本電話機のソフトウェアを更新します。
警告音鳴動	本電話機の警告音を最大音量で、連続して鳴らします。
音声発信制限	音声発信（公衆発信のみ）を許可または禁止します。リモート管理用コマンドにより音声発信が禁止されると、音声発信（公衆発信）をしようとした際に「管理者ロック設定中です」と表示され、発信できなくなります。この場合、管理者ロック機能の「発信制限」の設定に関係なく、動作が制限されます。
ライトメール発信制限	ライトメール発信を許可または禁止します。リモート管理用コマンドによりライトメール発信が禁止されると、ライトメールを送信しようとした際に「管理者ロック設定中です」と表示され、送信できなくなります。この場合、管理者ロック機能の「発信制限」の設定に関係なく、動作が制限されます。

管理項目	設定内容
Eメール制限	Eメール発信を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「Eメール制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「Eメール制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
オンラインサインアップ制限	オンラインサインアップを許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりオンラインサインアップが禁止されると、オンラインサインアップを実行しようとした際に「許可されていません」と表示され、オンラインサインアップができなくなります。
Web制限	Web接続を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「Web制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「Web制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
赤外線制限 USB制限 ICレコーダ	赤外線通信、USB接続、ICレコーダの機能を一括で許可または禁止します。
スケジュール 電話帳 プロフィール 発信履歴／着信履歴／番号メモ	スケジュール、電話帳、プロフィール、発信履歴／着信履歴／番号メモの機能を一括で許可または禁止します。
赤外線制限	赤外線通信を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「赤外線制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「赤外線制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
USB制限	USB接続を許可または禁止します。 この設定により、管理者ロック機能の「USB制限」が設定されます。リモート管理用コマンドにより「USB制限」が設定されている場合、本電話機から管理者パスワードで認証し、設定を解除できます。
ICレコーダ	ICレコーダによる録音を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりICレコーダによる録音が禁止されると、ICレコーダで録音しようとした際に「許可されていません」と表示され、録音できなくなります。
スケジュール	スケジュールの使用を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりスケジュールの使用が禁止されると、スケジュールを使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、スケジュールが使用できなくなります。この場合、スケジュールの「通知設定」も動作しなくなり、アラームも鳴らなくなります。この場合、機能ロックの「スケジュール」の設定に関係なく、動作が制限されます。
電話帳	電話帳の使用を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドにより電話帳の使用が禁止されると、電話帳を使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、電話帳が使用できなくなります。この場合、機能ロックの「電話帳」の設定に関係なく、動作が制限されます。
プロフィール	プロフィールの表示を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドによりプロフィールの表示が禁止されると、プロフィールを表示しようとした際に「許可されていません」と表示され、プロフィールが表示できなくなります。この場合、機能ロックの「プロフィール」の設定に関係なく、動作が制限されます。
発信履歴／着信履歴／番号メモ	発信履歴／着信履歴／番号メモの使用を許可または禁止します。 リモート管理用コマンドにより発信履歴／着信履歴／番号メモの使用が禁止されると、これらの機能を使用しようとした際に「許可されていません」と表示され、機能が使用できなくなります。この場合、機能ロックの「発信履歴／メモ」の設定に関係なく、動作が制限されます。
位置情報通知LI	「位置情報通知LI」の設定を、「ON」または「OFF」にします。
オートダイヤルロック設定	ダイヤルロック機能の「タイム起動」の設定を、「ON」または「OFF」にします。
完全消去+初期化	リセット機能の「完全消去+初期化」を実行します。
オンラインサインアップ削除	「オンラインサインアップ」の「削除」を実行します。
設定リセット	リセット機能の「オール設定リセット」を実行します。

ソフトウェアを更新する

本電話機に内蔵されているソフトウェアがバージョンアップされた場合、インターネット経由で最新のソフトウェアに更新することができます。

ご注意

- ・ソフトウェア更新を安全に完了させるため、以下の点に注意してください。
 - ・ソフトウェア更新は、電池マーク表示が2本以上の状態で行ってください。電池マーク表示が1本以下の場合は、ソフトウェア更新は行われません。
 - ・ソフトウェア更新は電波の強い場所で行ってください。
 - ・ソフトウェア更新を実施している間は、手順に記載されている以外の操作を行わないでください。
- ・ソフトウェア更新は、ブラウザの表示モードをケータイモードに設定してから行ってください。
- ・ソフトウェア更新を行うときは、オンラインサインアップが必要です。オンラインサインアップは、ソフトウェア更新メニューから行うことができます。
- ・オンラインサインアップは、「管理者ロック」および「機能ロック」の設定による制限を受けます。そのため、オンラインサインアップができない場合には、必要に応じて「管理者ロック」および「機能ロック」の設定を解除してください。
- ・ソフトウェア更新は、無料で行えます。
- ・ソフトウェア更新中は、その他の操作は行えません。
- ・「管理者ロック」の「Web制限」が設定されていても、ソフトウェア更新は行えます。
- ・「機能ロック」が設定されていても、ソフトウェア更新は行えます。したがって、「メール/Web/Java™」制限中でもソフトウェアの更新は可能です。

1 公衆モードになっていることを確認する

モードの種別は、画面上部の表示によって区別できます。オフィスモード、グループモードおよび転送モードではソフトウェア更新は行えません。デュアルモードの場合は、ソフトウェア更新時に自動的に公衆モードが選択されます。「利用するモードを選ぶ」(※8-2ページ)

2 待ち受け画面で

更新サーバに接続されます。ソフトウェアのダウンロードが完了すると「バージョンアップを開始します よろしいですか?」と表示されます。

3 で「Yes」を選択

数回再起動後、ソフトウェア更新が完了し、待ち受け画面が表示されます。

お知らせ

- ・ソフトウェア更新中は、着信はできません。
- ・ソフトウェア更新はインターネット経由で行われますが、接続料金は課金されません。
- ・機能ロックや管理者ロックでWeb機能をロックしていても、ソフトウェア更新は行えます。